09. 3. 2004

日本国特許庁 JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application:

2003年12月16日

出 願 番 号 Application Number:

特願2003-418655

[ST. 10/C]:

[JP2003-418655]

出 願 人
Applicant(s):

財団法人くまもとテクノ産業財団

REC'D 2 2 APR 2004

WIPO PCT

PRIORITY DOCUMENT SUBMITTED OR TRANSMITTED IN COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office 2004年 4月 9日



【書類名】	特許願
【整理番号】	P03-0180
【提出日】	平成15年12月16日
【あて先】	特許庁長官 殿
【国際特許分類】	C07K 16/00
【発明者】	20,22 20,00
【住所又は居所】	熊本県熊本市高平1-30-69
【氏名】	阪口 薫雄
【発明者】	NATE OF THE PROPERTY OF THE PR
【住所又は居所】	熊本県熊本市大江4-2-30
【氏名】	桑原一彦
【発明者】	
【住所又は居所】	熊本県熊本市御領1丁目11-55
【氏名】	蒙田 知江美
【特許出願人】	炎田 加工大
【識別番号】	801000050
【氏名又は名称】	財団法人くまもとテクノ産業財団
【代理人】	別団仏八くよりピアノノ産未別団
【識別番号】	100092783
【弁理士】	100032703
【氏名又は名称】	小林 浩
【電話番号】	03-3273-2611
【選任した代理人】	03-3213-2011
【識別番号】	100095360
【弁理士】	100030300
【氏名又は名称】	片山 英二
【選任した代理人】	лш Д
【識別番号】	100093676
【弁理士】	100000010
【氏名又は名称】	小林 純子
【選任した代理人】	- 4 - 11 - WG 4
【識別番号】	100120134
【弁理士】	100180101
【氏名又は名称】	大森 規雄
【手数料の表示】	ノくやドークルが圧
【予納台帳番号】	157061
【納付金額】	21,000円
【提出物件の目録】	21,000()
【物件名】	特許請求の範囲 1
【物件名】	明細書 1
【物件名】	
【物件名】	要約書 1
	タル7日 1

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

HIVのgp120糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数が $KD=1.0\times10^{-9}$ (M)以下の抗体又はその断片。

【請求項2】

gp120糖タンパク質のうち第308-330番目のアミノ酸配列の少なくとも一部を認識することができる請求項1記載の抗体又はその断片。

【請求項3】

第308-330番目のアミノ酸配列が配列番号 6 に示されるものである請求項 2 記載の抗体 又はその断片。

【請求項4】

ポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体である、請求項 $1 \sim 3$ のいずれか1 項に記載の抗体又はその断片。

【請求項5】

請求項4記載の抗体又はその断片のV領域を含む、ヒト型化抗体若しくはヒト抗体又は それらの断片。

【請求項6】

配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫したGANPトランスジェニック哺乳動物又はその子孫から採取される、高親和性抗体産生細胞。

【請求項7】

GANPトランスジェニック動物又はその子孫を、配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗HIV抗体又はその断片の製造方法。

【請求項8】

請求項6記載の細胞とミエローマ細胞との融合細胞を培養し、得られる培養物から抗体 を採取することを特徴とする、抗HIV抗体又はその断片の製造方法。

【請求項9】

請求項 $1\sim4$ のいずれか1項に記載の抗体又はその断片、及び請求項5記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する医薬組成物。

【請求項10】

後天性免疫不全症候群の治療薬である請求項9記載の医薬組成物。

【請求項11】

請求項 $1\sim4$ のいずれか1項に記載の抗体若しくはその断片、又は請求項5記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体若しくはそれらの断片とHIVのgp120糖タンパク質とを反応させることを特徴とするHIVの検出方法。

【請求項12】

請求項1~4のいずれか1項に記載の抗体又はその断片、及び請求項5記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有するHIV検出用キット。

【書類名】明細書

【発明の名称】抗HIV抗体

【技術分野】

$[0\ 0\ 0\ 1]$

本発明は、HIVの外皮膜に存在し分子量約120kDを有する糖タンパク質gp120に高親和性に結合する抗体及びその産生細胞に関する。また、本発明は、上記抗体を含有する医薬組成物に関する。

【背景技術】

[0002]

後天性免疫不全症候群(AIDS)は、HIV(Human Immunodeficiency Virus)の感染後、徐々に感染者の免疫能が低下して合併症を起こすようになった状態を意味する。

[0003]

HIVは宿主の体内に侵入すると、CD4陽性細胞、特にCD⁺Tリンパ球(ヘルパーT細胞)に感染する。CD4陽性細胞への感染に関与するタンパク質は、HIVの外被糖タンパク質gp120である。gp120は、HIVの外皮膜に存在し、分子量約120キロダルトン(kD)を有する糖タンパク質であり、細胞表面のCD4を特異的受容体として結合する。そして、HIVはCD4⁺リンパ球に感染後、細胞内に侵入し、脱外被を起こして核酸(RNA)を遊離する。その後、逆転写酵素によるDNA合成、転写、翻訳がなされ、ウイルスタンパク質が合成される。ウイルスタンパク質は細胞膜に移動してウイルス粒子となり放出される。

$[0\ 0\ 0\ 4\]$

HIVは抗原変異が激しいため、ワクチンを作製することが困難であり、現在有効なワクチンは開発されていない。また、HIV遺伝子は感染細胞内の染色体に組み込まれるため、感染したHIVを完全に取り除くという根本的治療は極めて困難である。

[0005]

現在、AIDSの発病を遅らせ、延命効果が認められる薬剤としてAZT(アジトチミジン)などがあり、有効性が期待できる治療薬も次々と開発されつつある。しかしながら、まだ決定的な治療薬は確立していない。

[0006]

一方、HIVを効果的に中和する能力を持ち、AIDSの予防や診断に役立つ抗体を得るために種々の試みがなされている。gp120はHIVの感染にとって最も重要な分子の一つであるため(非特許文献 1)、HIVの感染の効果的な抑制、感染予防及び診断には、gp120を標的とすることができる。これまでに、HIVのgp120の前駆体であるgp160のアミノ酸配列のうち、第308-331番目以内にある一つのエピトープを認識する「 $0.5\,\beta$ 」と呼ばれる抗体が作製されている(特許文献 1)。しかし、抗原との結合力をさらに高めるには、HIVのgp120と反応して、効果的にウイルスを中和することができる高親和性抗体を開発することが必要である。

【特許文献1】特許第2797099号公報

【非特許文献 1】McDougal et. al., Science, 231,382-385 (1986)

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

[0007]

本発明は、HIVを中和する能力を有する高親和性抗体、及び該抗体を含む医薬組成物を提供することを目的とする。また、後天性免疫不全症候群の治療に用いられる医薬組成物を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

[0008]

本発明者は、上記課題を解決するために誠意研究を行った結果、GANPトランスジェニック動物を用いてgp120により免疫すると、HIVの活性を中和し、かつHIVと高親和性に結合する抗体を産生することを見出し、本発明を完成するに至った。

[0009]

すなわち、本発明は以下の通りである。

(1) HIVのgp120糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数がKD=1.0×10⁻⁹ (M)以下の抗体又はその断片。

[0010]

上記抗体又はその断片は、gp120糖タンパク質のうち第308-330番目のアミノ酸配列 (例えば配列番号6に示されるもの) の少なくとも一部を認識することができる。

$[0\ 0\ 1\ 1]$

本発明の抗体又はその断片は、ポリクローナル抗体であってもモノクローナル抗体であってもよい。

- (2) 上記抗体又はその断片のV領域を含む、ヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片。
- (3) 配列番号 6 に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫したGANPトランスジェニック哺乳動物又はその子孫から採取される、高親和性抗体産生細胞。
- (4) GANPトランスジェニック動物又はその子孫を、配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗HIV抗体又はその断片の製造方法。
- (5) 上記(3)記載の細胞とミエローマ細胞との融合細胞を培養し、得られる培養物から抗体を採取することを特徴とする、抗HIV抗体又はその断片の製造方法。
- (6) 上記(1)記載の抗体又はその断片、及び上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体 又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する医薬組成物。

$[0\ 0\ 1\ 2]$

本発明の医薬組成物は、後天性免疫不全症候群の治療薬として使用することが可能である。

- (7) 上記(1)記載の抗体若しくはその断片、又は上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体若しくはそれらの断片とHIVのgp120糖タンパク質とを反応させることを特徴とするHI Vの検出方法。
- (8) 上記(1)記載の抗体又はその断片、及び上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体 又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有するHIV検出用キット

【発明の効果】

$[0\ 0\ 1\ 3]$

本発明により、GANP遺伝子トランスジェニック哺乳動物から得られる、高親和性抗HIV 抗体、及び該抗体を含む医薬組成物が提供される。本発明の抗体は、KD=1.0×10⁻⁹ (M)以 下の高親和性を有しているため、本発明の抗体を含む医薬組成物は、後天性免疫不全症候 群(AIDS)の治療薬として使用することができる。

$[0\ 0\ 1\ 4\]$

さらに、本発明により、該抗体を産生する細胞、及び該抗体を利用したHIVの検出キットも提供される。

【発明を実施するための最良の形態】

[0015]

1. 概要

本発明の抗体は、GANPトランスジェニック哺乳動物に、HIVのgp120の一部、特にgp120のアミノ酸配列のうち第308-330のアミノ酸配列からなるペプチドを抗原として免疫することにより得られたものである。gp120のアミノ酸配列のうち第308-330番目の配列(「gp120(308-330)」という)を認識する抗体は、ウイルス中和活性、及び感染細胞による合胞体形成抑制活性を有することが知られているが(Skinner MA., et al., AIDS Res. Hum. Retroviruses (1988), 4(3), 187-197)、本発明の抗体は、gp120(308-330)と高親和性に結合することを特徴とするものである。

[0016]

ここで、GANPとは、胚中心結合核タンパク質(Germinal center-associated nuclear protein)と呼ばれている核タンパク質である。GANPは、遺伝子に変異を誘導するプロセスにおいて直接的及び間接的に必要な分子である。また、GANPは、遺伝子変異を修復する際に、高親和性の抗体が得られるようにV領域の変異の誘導を促す能力を保有していることから、GANPをコードする遺伝子を導入したトランスジェニック哺乳動物(「GANPトランスジェニック哺乳動物」という)は、このGANP遺伝子の導入によって、獲得性免疫の高親和性抗体産生を促進することができる。また、このGANPトランスジェニック哺乳動物は、速やかに抗原に対する結合力の高い抗体を産生することができる。従って、上記トランスジェニック哺乳動物を、HIVのgp120のアミノ酸配列のペプチド(例えばgp120(308-330))を抗原に用いて免疫することで、従来は得られないような高親和性の抗体を簡便に得ることができる。

$[0\ 0\ 1\ 7]$

上述の通り、本発明により、HIV中和活性、感染細胞の合胞体形成抑制作用を有し、従来は得られないような高親和性の抗HIV抗体を得ることができる。そして、得られた抗体を含む医薬組成物は、AIDSの治療に用いることができる。

[0018]

上記抗体を産生する細胞は、gp120で免疫したGANPトランスジェニック哺乳動物から得られた脾臓B細胞又はリンパ節細胞単独でもよく、B細胞又はリンパ細胞とミエローマ細胞とを融合させたハイブリドーマ細胞でもよい。本発明は、上記抗体を産生する細胞についても提供する。

[0019]

さらに、HIV感染を確認する臨床検査においては、HIVを高感度に検出することが重要である。その検出手段として、本発明の高親和性抗HIV抗体を用いることができる。従って、本発明は、抗HIV抗体を含むHIV検出キットを提供するものである。

[0020]

2. 抗原の調製

HIVのgp120はデータベース等から配列情報を得ることが可能であり(PRF 1102247A, htt p://www.genome.ad.jp/dbget-bin/www_bget?prf:1102247A)、そのアミノ酸配列は配列番号5に示されるものである。

[0021]

そして、gp120(308-330)のポリペプチド配列は、

NNTRKSIRIQRGPGRAFVTIGKI (配列番号 6)

で表される23アミノ酸残基であり(Lee Ratner et al., Nature 313, 277-284, 1985)、このアミノ酸配列のうちの少なくとも一部(全部又は一部)を含むポリペプチド又はペプチド(単にペプチドともいう)抗原として使用することができる。

[0022]

ここで、抗原に用いる上記配列番号 6 で示されるペプチド配列の「アミノ酸配列の少なくとも一部」とは、長さに特に限定されるものではない。例えば23アミノ酸残基のうち連続する8アミノ酸残基以上、例えば8、10、12、16、20、23アミノ酸残基が挙げられる。また、選択する場所は、配列番号 6 の中の連続したアミノ酸であれば特に限定されず、任意の場所を選択することができる。例えば、7~8アミノ酸残基を抗原に用いる場合には、配列番号 6 で示される23残基のアミノ酸配列を、N末端から順に7~8アミノ酸ずつ3 つの領域に渡ってアミノ酸配列を選択してもよく、N末端から1アミノ酸ずつC末端側にずらした領域の配列を選択してもよい。

[0023]

抗原には、配列番号6及び上記のアミノ酸配列の少なくとも一部を、単独又は混合して 用いることができる。

[0024]

また、上記ペプチドをキャリアタンパク質と結合させ、該ペプチドを側鎖として多数持つように抗原を作製してもよい。この場合は、上記ペプチドのN末端に、キャリアタンパ

ク質を結合させるためのシステイン残基を付加することができる。

[0025]

ペプチドの作製方法は、化学合成でも、大腸菌などを用いる生化学的合成でもよく、これらは当業者に周知の方法を用いることができる。

[0026]

本発明のペプチドの化学合成を行う場合は、ペプチドの合成の周知方法によって合成することができる。例えば、アジド法、酸クロライド法、酸無水物法、混合酸無水物法、DCC法、活性エステル法、カルボイミダゾール法、酸化還元法等が挙げられる。また、その合成は、固相合成法及び液相合成法のいずれをも適用することができる。市販のペプチド合成装置(島津製作所製PSSM-8など)を使用してもよい。

[0027]

反応後は、溶媒抽出、蒸留、カラムクロマトグラフィー、液体クロマトグラフィー、再結晶などの通常の精製法を組み合わせて本発明のペプチドを精製することができる。

[0028]

本発明のペプチドの生化学的合成を行う場合は、まず、該ペプチドをコードするDNAを設計し合成する。そして、上記DNAを適当なベクターに連結することによってタンパク質発現用組換えベクターを得、該組換えベクターを目的遺伝子が発現し得るように宿主中に導入することによって形質転換体を得ることができる(Sambrook J and Russel D. Molecular Cloning, A Laboratory Manual, 3rd edition, CSHL Press, 2001)。

[0029]

ベクターには、宿主微生物で自律的に増殖し得るファージ又はプラスミドが使用される。プラスミドDNAとしては、大腸菌、枯草菌又は酵母由来のプラスミドなどが挙げられ、ファージDNAとしては λ ファージが挙げられる。さらに、動物ウイルス、昆虫ウイルスベクターを用いることもできる。

[0030]

組換えベクターの作製は、精製されたDNAを適当な制限酵素で切断し、適当なベクター DNAの制限酵素部位等に挿入してベクターに連結すればよい。

[0031]

形質転換に使用する宿主としては、目的の遺伝子を発現できるものであれば特に限定されるものではない。例えば、細菌(大腸菌、枯草菌等)、酵母、動物細胞(COS細胞、CHO細胞等)、昆虫細胞又は昆虫が挙げられる。ヤギ等の哺乳動物を宿主として使用することも可能である。

[0032]

宿主への組換えベクターの導入方法は公知であり、任意の方法(例えばカルシウムイオンを用いる方法、エレクトロポレーション法、スフェロプラスト法、酢酸リチウム法、リン酸カルシウム法、リポフェクション法等)が挙げられる。

[0033]

本発明において、本発明のペプチドは、前記形質転換体を培養し、その培養物から採取することにより得ることができる。「培養物」とは、(a)培養上清、(b)培養細胞若しくは培養菌体又はその破砕物のいずれをも意味するものである。

[0034]

培養法は、当分野において周知である(前記Sambrookら、Molecular Cloningを参照)

[0035]

培養後、目的ペプチドが菌体内又は細胞内に生産される場合には、菌体又は細胞を破砕することによりペプチドを抽出する。また、目的ペプチドが菌体外又は細胞外に生産される場合には、培養液をそのまま使用するか、遠心分離等により菌体又は細胞を除去する。その後、ペプチドの単離精製に用いられる一般的な生化学的方法、例えば硫酸アンモニウム沈殿、ゲル濾過、イオン交換クロマトグラフィー、アフィニティークロマトグラフィー等を単独で又は適宜組み合わせて用いることにより、目的のペプチドを単離精製すること

ができる。

[0036]

本発明においては、in vitro翻訳によるペプチド合成を採用することもできる。この場合は、RNAを鋳型にする方法とDNAを鋳型にする方法(転写/翻訳)の2通りの方法を用いることができる。例えば、鋳型DNAとしては、翻訳開始点の上流にプロモーターとリボゾーム結合部位を有している該ペプチドをコードするDNA、あるいは翻訳開始点の上流に転写に必要なプロモーター等が組み込まれたDNAが挙げられる。in vitro翻訳システムは、市販のシステム、例えばExpressway $^{\text{TM}}$ システム(Invitrogen社)、PURESYSTEM(登録商標;ポストゲノム研究所)、TNTシステム(登録商標;Promega社)などを用いることができる。in vitro翻訳システムによるペプチド合成後は、上記の一般的な生化学的方法を単独又は組み合わせることにより、目的のペプチドを単離精製することができる。

[0037]

上記のように得られたペプチドに結合させるキャリアタンパク質としては、牛血清アルブミン(BSA)、keyhole limpet hemocyanin(KLH)、human thyroglobulin, ニワトリガンマグロブリンを挙げることができる。

[0038]

3. GANP

GANPは、酵母Sac3タンパク質とホモロジーを有する210kDaの核タンパク質である(W000/50611号公報)。そして、SAC3はアクチン形成の抑制物質として特徴づけられている。また、GANPは、濾胞樹状細胞(follicular dendritic cells: FDC)により囲まれる胚中心(germinal center, GC)B細胞において選択的にアップレギュレートされ、リン酸化依存性RNA-プライマーゼ活性を有し、B細胞の細胞周期調節に関与しているタンパク質である(Kuwahara, K. et al., (2000) Blood 95, 2321-2328)。

[0039]

本発明においては、GANPタンパク質のアミノ酸配列を、マウスについて配列番号2に、ヒトについて配列番号4に示す。また、GANPタンパク質をコードする遺伝子(GANP遺伝子という)の塩基配列を、マウスについて配列番号1に、ヒトについて配列番号3に示す。なお、上記アミノ酸配列及び塩基配列は、国際公開W000/50611号公報にも記載されている。

$[0\ 0\ 4\ 0]$

またGANPタンパク質は変異体でもよく、配列番号2又は4に記載のアミノ酸配列において1又は複数のアミノ酸が欠失、置換又は付加されたアミノ酸配列であってRNAプライマーゼ活性を有するタンパク質であってもよい。例えば、配列番号2又は4に示すアミノ酸配列のうち1若しくは複数個(好ましくは1個又は数個(例えば1個~10個、さらに好ましくは1個~5個))のアミノ酸が欠失しており、1若しくは複数個(好ましくは1個又は数個(例えば1個~10個、さらに好ましくは1個~5個))のアミノ酸が他のアミノ酸で置換されており、及び/又は1若しくは複数個(好ましくは1個又は数個(例えば1個~10個、さらに好ましくは1個~5個))の他のアミノ酸が付加されたアミノ酸配列からなり、かつ上記GANPタンパク質と同様のRNAプライマーゼ活性を有するGANP変異型タンパク質を使用することもできる。

[0041]

「RNAプライマーゼ活性」とは、RNA複製において、 $5' \rightarrow 3'$ 方向に進む鎖の伸長とは逆向きの鎖(ラギング鎖)を合成する際に、伸長の開始点となる短いプライマーのRNAを合成する酵素活性を意味する。通常は α プライマーゼと呼ばれるDNAポリメラーゼ α と結合する分子が用いられるが、胚中心B細胞では第二のプライマーゼであるGANPプライマーゼも誘導されている。

[0042]

GANPタンパク質は、上記配列番号 2 若しくは 4 に示すアミノ酸配列又はこれらの変異型アミノ酸配列のほか、N末端側の一部の配列(例えば配列番号 2 に示すアミノ酸配列の $1\sim600$ 番、好ましくは $139\sim566$ 番)又はこれらの変異型アミノ酸配列を有するものも含まれる。

[0043]

本発明において、動物に導入するためのGANP遺伝子は、上記GANPタンパク質、N末側の一部の配列、又は変異型タンパク質をコードする遺伝子が挙げられる。そのような遺伝子として、例えば配列番号1又は3に示す塩基配列を有するものを使用することができる。配列番号1又は3に示す塩基配列のうち、コード領域のみの塩基配列であってもよい。また、上記配列番号1又は3に示す塩基配列に相補的な配列と、ストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、RNAプライマーゼ活性を有するタンパク質をコードする遺伝子を使用することも可能である。

$[0\ 0\ 4\ 4]$

「ストリンジェントな条件」とは、ハイブリダイズさせた後の洗浄時の条件であって塩(ナトリウム)濃度が150~900mMであり、温度が55~75℃、好ましくは塩(ナトリウム)濃度が250~450 mMであり、温度が68℃での条件をいう。

[0045]

遺伝子に変異を導入するには、Kunkel法や Gapped duplex法等の公知手法により、例えば部位特異的突然変異誘発法を利用した変異導入用キット、例えばGeneTailorTM Site-Directed Mutagenesis System(インビトロジェン社製)、TaKaRa Site-Directed Mutagenesis System(Mutan-K、Mutan-Super Express Km等:タカラバイオ社製)を用いて行うことができる。

[0046]

変異遺伝子の詳細並びに取得方法は国際公開WOOO/50611号公報にも記載されている。

[0047]

なお、抗 μ 抗体及び抗CD-40モノクローナル抗体でB細胞をin vitro刺激すると、GANP発現のアップレギュレーションのみならず、GANPタンパク質のアミノ酸配列のうち特定のセリン残基(例えば502番目のセリン: S502)のリン酸化を引き起こす。この反応は、GANPのRNA-プライマーゼ活性についてキーとなる反応である(Kuwahara, K. et al. (2001) Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 98, 10279-10283)。GANPタンパク質のN末端側のRNA-プライマーゼドメインはセリン残基を含んでおり、そのリン酸化はin vitroにおいてCdk2によって触媒される。C末端側ドメインにより、GANPはMCM3複製ライセンシング因子に結合する(Kuwahara, K. et al., (2000) Blood 95, 2321-2328; Abe, E. et al. (2000) Gene 255, 219-227)。

[0048]

なお、GANP遺伝子欠損マウスは胎生致死であるが、CD19Creマウスとflox-ganp遺伝子のマウスを交配して作製したB細胞に選択的にGANP遺伝子を欠損したconditional targetingマウスを作製して、T細胞依存性抗原であるnitrophenyl (NP)-ニワトリガンマグロブリン抗原で免疫してNP-ハプテン特異的な抗体産生を調べたところ、高親和性抗体産生が著しく障害されており、GANP分子が抗体の親和性亢進に重要な機能をしていることが明らかになった。

[0049]

4. GANP遺伝子を導入したトランスジェニック哺乳動物

gp120による免疫の対象となる動物は、GANP遺伝子を導入したトランスジェニック非ヒト哺乳動物であり、当該トランスジェニック哺乳動物は、好ましくは、導入したGANP遺伝子をB細胞で発現することができる。

[0050]

(1) GANP遺伝子とその関連分子

GANP遺伝子とその関連分子で形成される複合体は、遺伝子に変異を誘導するプロセスで直接および間接的に必要な分子である。GANPタンパク質は、遺伝子変異を修復する際に、高親和性の抗体が得られるようにV領域の変異の誘導を促す能力を保有していることから、本発明のトランスジェニック哺乳動物は、このGANP遺伝子又はその変異遺伝子の導入によって、獲得性免疫の高親和性抗体産生を促進することができる。また、この遺伝子を過剰に発現するトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、速やかに抗原に対する結合力の高い

抗体を産生することができる。従って、上記トランスジェニック非ヒト哺乳動物を所定の 抗原で免疫することで、従来では得られないような高親和性の抗体を簡便に得ることがで きる。その結果、難治性の病原微生物や異物を排除できるポリクローナル抗体又はモノク ローナル抗体を得ることができる。また、本発明のトランスジェニック哺乳動物を用いて ヒト型化抗体を作製することによって、あるいは、本発明のトランスジェニック哺乳動物 が産生する抗体のV領域を含む一本鎖抗体を作製することによって、抗体療法の効力を飛 躍的に高めることが可能となる。

[0051]

本発明のトランスジェニック哺乳動物は、GANP又はその変異遺伝子の導入によって、B 細胞で高親和性抗体の産生を促進することができ、前記高親和性抗体産生細胞はアポトー シスを誘導するシグナルに対して抵抗性を有する。

[0052]

(2) GANP遺伝子導入用哺乳動物

本発明における「哺乳動物」とは、ウシ、ウマ、ブタ、ヤギ、ウサギ、イヌ、ネコ、マ ウス、ラット、ハムスター及びモルモット等の任意の非ヒト哺乳動物を意味し、好ましく はマウス、ウサギ、ラットまたはハムスターであり、特に好ましくはマウスである。

[0053]

本発明のトランスジェニック哺乳動物は、未受精卵、受精卵、精子およびその始原細胞 を含む胚芽細胞などに対して、好ましくは、非ヒト哺乳動物の発生における胚発生の段階 (さらに好ましくは、単細胞または受精卵細胞の段階でかつ一般に8細胞期以前)の細胞 に対して、リン酸カルシウム法、電気パルス法、リポフェクション法、凝集法、マイクロ インジェクション法、パーティクルガン法、DEAE-デキストラン法などにより、GANP遺伝 子を導入することにより作製することができる。また、上記遺伝子導入方法により、体細 胞、生体の臓器、組織細胞などに目的とするGANP遺伝子を転移させ、細胞培養、組織培養 などに利用することもできる。さらに、これら細胞を上述の胚芽細胞と公知の細胞融合法 により融合させることにより、トランスジェニック哺乳動物を作製することもできる。

[0054]

GANP遺伝子を対象動物に導入させる際、当該遺伝子を対象となる動物の細胞で発現させ うるプロモーターの下流に連結した遺伝子構築物として導入することが好ましい。具体的 には、目的とするGANP遺伝子を有する各種哺乳動物由来のGANP遺伝子を発現させうる各種 プロモーターの下流に、GANP遺伝子を連結したベクターを、対象となる哺乳動物の受精卵 (例えば、マウス受精卵) にマイクロインジェクションすることによって、目的とするGA NP遺伝子を高発現するトランスジェニック哺乳動物を作製することができる。

$[0\ 0\ 5\ 5]$

(3) 発現ベクター

GANP遺伝子の発現ベクターとしては、大腸菌由来のプラスミド、枯草菌由来のプラスミ ド、酵母由来のプラスミド、λファージなどのバクテリオファージ、モロニー白血病ウイ ルスなどのレトロウイルス、ワクシニアウイルス又はバキュロウイルスなどの動物又は昆 虫ウイルスなどが用いられる。

[0056]

遺伝子発現の調節を行うプロモーターとしては、たとえばウイルス由来遺伝子のプロモ ーター、各種哺乳動物(ヒト、ウサギ、イヌ、ネコ、モルモット、ハムスター、ラット、 マウスなど)および鳥類(ニワトリなど)由来遺伝子のプロモーターなどを使用すること が可能である。

[0057]

ウイルス由来遺伝子のプロモーターとしては、例えばサイトメガロウイルス、モロニー 白血病ウイルス、JCウイルス、乳癌ウイルス等由来遺伝子のプロモーターが挙げられる。

[0058]

各種哺乳動物及び鳥類由来遺伝子のプロモーターとしては、例えば、アルブミン、イン スリンII、エリスロポエチン、エンドセリン、オステオカルシン、筋クレアチンキナーゼ 、血小板由来成長因子 β 、ケラチンK1, K10およびK14、コラーゲンI型およびII型、心房ナトリウム利尿性因子、ドーパミン β -水酸化酵素、内皮レセプターチロシンキナーゼ、ナトリウムカリウムアデノシン3リン酸化酵素、ニューロフィラメント軽鎖、メタロチオネインI及びIIA、メタロプロティナーゼ 1 組織インヒビター、MHCクラスI抗原、平滑筋 α アクチン、ポリペプチド鎖延長因子 1α ($EF-1\alpha$)、 β アクチン、 α 及び β ミオシン重鎖、ミオシン軽鎖 1 及び 2、ミエリン基礎タンパク、血清アミロイド12コンポーネント、ミオグロビン、レニンなどの遺伝子のプロモーターが挙げられる。

[0059]

上記ベクターは、トランスジェニック哺乳動物において目的とするメッセンジャーRNA の転写を終結するターミネターを有していてもよい。その他、GANP遺伝子をさらに高発現させる目的で、各遺伝子のスプライシングシグナル、エンハンサー領域、真核生物遺伝子のイントロンの一部をプロモーター領域の5'上流、プロモーター領域と翻訳領域間、あるいは翻訳領域の3'下流 に連結することも所望により可能である。

[0060]

本発明の好ましい態様では、免疫グロブリンプロモーターの下流にGANP遺伝子を連結することにより、あるいはヒト免疫グロブリン遺伝子イントロンエンハンサー部分をGANP遺伝子の5'側に連結することにより、GANP遺伝子をB細胞で選択的に発現させることができる。

$[0\ 0\ 6\ 1]$

(4) GANP遺伝子の導入

受精卵細胞段階におけるGANP遺伝子の導入は、対象の哺乳動物の胚芽細胞および体細胞の全てに過剰に存在するように確保することが好ましい。遺伝子導入後の作出動物の胚芽細胞においてGANP遺伝子が過剰に存在することは、作出動物の子孫が全てその胚芽細胞および体細胞の全てにGANP遺伝子を過剰に有することを意味する。そして、遺伝子を受け継いだこの種の動物の子孫は、その胚芽細胞および体細胞の全てにGANP蛋白質を過剰に有する。

$[0\ 0\ 6\ 2]$

本発明においては、導入遺伝子を相同染色体の一方に持つヘテロ接合体を取得し、ヘテロ接合体同士を交配することで導入遺伝子を相同染色体の両方に持つホモ接合体を取得し、この雌雄の動物を交配することによりすべての子孫が導入されたGANP遺伝子を安定に保持する。そして、GANP遺伝子を過剰に有することを確認して、通常の飼育環境で繁殖継代することができる。

[0063]

トランスジェニック対象動物が有する内在性の遺伝子とは異なる遺伝子である外来性GANP遺伝子を対象非ヒト哺乳動物(好ましくはマウスなど)、又はその先祖の受精卵(バッククロス)に転移する際に用いられる受精卵は、同種の雄哺乳動物と雌哺乳動物を交配させることによって得られる。

$[0\ 0\ 6\ 4\]$

受精卵は自然交配によっても得られるが、雌哺乳動物の性周期を人工的に調節した後、雄哺乳動物と交配させる方法が好ましい。雌哺乳動物の性周期を人工的に調節する方法としては、例えば、初めに卵胞刺激ホルモン(妊馬血清性性腺刺激ホルモン(PMSG))、次いで黄体形成ホルモン(ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(hCG))を、例えば腹腔注射などにより投与する方法が好ましい。

[0065]

得られた受精卵に、前述の方法により外来性GANP遺伝子を導入した後、雌哺乳動物に人工的に移植・着床することにより、外来性遺伝子を組み込んだDNAを有する非ヒト哺乳動物が得られる。雌哺乳動物に黄体形成ホルモン放出ホルモン(LHRH)を投与後、雄哺乳動物と交配させることにより受精能を誘起された偽妊娠雌哺乳動物に、受精卵を人工的に移植・着床させる方法が好ましい。遺伝子を導入する全能性細胞としては、マウスの場合、受精卵や初期胚を用いることができる。また培養細胞への遺伝子導入法としては、トランス

ジェニック哺乳動物個体の産出効率や次代への導入遺伝子の伝達効率を考慮した場合、DNAのマイクロインジェクションが好ましい。

[0066]

遺伝子を注入した受精卵は、次に仮親の卵管に移植され、個体まで発生し出生した動物を里親につけて飼育させたのち、体の一部(マウスの場合には、例えば、尾部先端)からDNAを抽出し、サザン解析やPCR法により導入遺伝子の存在を確認することができる。導入遺伝子の存在が確認された個体を初代(Founder)とすれば、導入遺伝子はその子(F1)の50%に伝達される。さらに、このF1個体を野生型動物または他のF1動物と交配させることにより、2倍体染色体の片方(ヘテロ接合)または両方(ホモ接合)に導入遺伝子を有する個体(F2)を作製することができる。

[0067]

あるいは、GANP蛋白質高発現トランスジェニック哺乳動物は、上記したGANP遺伝子をES 細胞(embryonic stem cell)に導入することによって作製することもできる。例えば、正常マウス胚盤胞(blastocyst)に由来するHPRT陰性(ヒポキサンチングアニン・フォスフォリボシルトランスフェラーゼ遺伝子を欠いている)ES細胞に、GANP遺伝子を導入する。当該GANP遺伝子がマウス内在性遺伝子上に相同組み換えを起こさせ、インテグレートされたES細胞をHATセレクション法により選別する。次いで、選別したES細胞を、別の正常マウスから取得した受精卵(胚盤胞)にマイクロインジェクションする。得られた胚盤胞を、仮親としての別の正常マウスの子宮に移植する。その後、仮親マウスからキメラトランスジェニックマウスが生まれる。生まれたキメラトランスジェニックマウスを正常マウスと交配させることにより、ヘテロトランスジェニックマウスを得ることができる。そして、ヘテロトランスジェニックマウス同士を交配することにより、ホモトランスジェニックマウスが得られる。

[0068]

本発明においては、上記したトランスジェニック哺乳動物に限らず、その子孫、並びにトランスジェニック哺乳動物又はその子孫の一部も本発明の範囲内である。トランスジェニック哺乳動物の一部としては、当該トランスジェニック哺乳動物又はその子孫の組織、器官及び細胞などが挙げられ、器官または組織としては、脾臓、胸腺、リンパ節、骨髄あるいは扁桃腺などが挙げられ、細胞としてはB細胞などが挙げられる。

[0069]

本発明のトランスジェニック哺乳動物は、B細胞をさらに活性化する哺乳動物と交配することも可能であり、これによりさらに高親和性抗体を産生することが可能である。

[0070]

最近、MRL/lprマウスでB細胞が末梢のリンパ節での活性化の際に胚中心を経過した後、T細胞領域でさらにV領域の突然変異誘導が亢進していることが報告されている。また、本発明者らもMRL/lprマウスにおいてGANP遺伝子がIgプロモーター、エンハンサーの下流に結合して作製したganpトランスジェニックマウスに見られるのと同等の高い発現が、非免疫の状態で見られることを見出している。このことは、正常では自己の抗原に対しては高親和性の抗体はできないのに対して、この自己免疫疾患マウスでは、GANP分子の異常な活性化が起こるために、自己の抗原に対しての高親和性抗体が産生されることとなる可能性が示唆される。

[0071]

そこで、上記B細胞をさらに活性化する動物として、自己免疫疾患マウスであるとされるMRL/lpr, NZB, (NZB x NZW)F1などを用いれば、さらに高い変異誘導を期待できる。

[0072]

以上のことを利用したMLR/lprマウスのGANPトランスジェニックマウスを作製することによって、スーパー高親和性抗体産生マウスを作出できる可能性がある。すなわち、本発明のGANP遺伝子過剰発現トランスジェニック哺乳動物とさまざまな自己免疫疾患モデル動物との交配により、高親和性抗体を産生できる哺乳動物を作製することができる。

[0073]

5. HIV gp120に対する高親和性抗体の作製

(1) 高親和性抗体

本発明において「抗体」とは、抗原であるgp120のアミノ酸配列第308-330番目のペプチドに結合し得る抗体分子全体(ポリクローナル抗体であってもモノクローナル抗体であっても良い)またはその断片を意味する。また、本発明の抗体のアイソタイプは特に限定されず、例えば、 $IgG(IgG_1 \setminus IgG_2 \setminus IgG_3 \setminus IgG_4)$ 、 $IgM \setminus IgA(IgA_1 \setminus IgA_2)$ 、IgD又はIgEである。

[0074]

本発明では、抗原に対する反応性が高い抗体のことを高親和性抗体という。「高親和性」とは、抗体が抗原と結合する結合能が高いことを意味し、抗体の結合能が一般のマウスなどの動物を用いて作製した抗体と比較して高く、また逆に当該抗原から解離することが遅い抗体のことをいう。これはエピトープに対して、立体的に密接して結合する能力が高く特異的であることを意味すると共に、抗体が結合することによってエピトープのみならずその抗原の構造の変換をきたすことによって結果的に強力な活性、例えば毒素中和活性、HIVの感染性阻止、不活性化などの生物活性を示すことも包含している。

[0075]

抗体の結合能(親和性)は、スキャッチャード解析やBiacore と呼ばれる表面プラズモン共鳴センサーにより、解離定数(KD)、解離速度定数(Kdiss)、結合速度定数(Kass)として測定することができる。Biacore装置は、センサーチップ、マイクロ流路系、SPR検出系の3つの技術を統合して分子結合の強さ、速さ、選択性を測定するというものであり、標識を使わずにリアルタイムで生体分子の検出と複数個の分子間での相互作用のモニタリングを行うことができる。Biacore装置としては、例えばBiacore 3000、Biacore 2000、Biacore X、Biacore J、Biacore Q(いずれもBiacore社)などが挙げられる。

[0076]

上記Biacore によって、抗体の親和性を示すパラメーター、すなわち解離定数(KD)、解離速度定数(Kdiss) [1/Sec] 及び結合速度定数(Kass) [1/M.Sec]を測定する。

[0077]

抗体は、解離定数(KD値)が小さい値であるほど親和性が高いという点で好ましい。抗体の結合能(親和性)は、Kdiss及びKassの2つのパラメーターにより決定され、

KD[M] = Kdiss/Kass

により表わされる。

[0078]

抗原の種類等複数の要因によって、得られる抗体の親和性は異なるが、KD値は 1×10^{-9} (M)以下であることが好ましく、 1.5×10^{-10} (M)以下であることがより好ましく、 1.0×10^{-10} (M)以下(特に 9.9×10^{-11} (M)以下)であることがさらに好ましい。

[0079]

本発明においては、作製された抗体が上記いずれかの作用又は性質を発揮する抗体であるときに、高親和性であると判断される。

[0800]

本発明の抗体(ポリクローナル抗体及びモノクローナル抗体及び活性フラグメント)は、種々の方法のいずれかによって製造することができる。このような抗体の製造法は当該分野で周知である。

[0081]

(2) ポリクローナル抗体の作製

上記の通り作製した抗原をGANPトランスジェニック哺乳動物に投与する。哺乳動物は特に限定されものではなく、例えばラット、マウス、ウサギなどを挙げることができるが、GANPトランスジェニックマウス、又はGANPトランスジェニックウサギが好ましい。

[0082]

抗原の動物一匹あたりの投与量は、アジュバントを用いないときは、 $5\sim50~{
m mg}$ であり、アジュバントを用いるときは $0.5\sim2~{
m mg}$ である。アジュバントとしては、フロイ

ント完全アジュバント(FCA)、フロイント不完全アジュバント(FIA)、水酸化アルミニウムアジュバント、トレハロースダイマイコレート(TDM)、リポ多糖(LPS)、シリカアジュバント、市販の免疫賦活薬等が挙げられる。免疫は、主として静脈内、皮下、腹腔内等に注入することにより行われる。また、免疫の間隔は特に限定されず、数日から数週間間隔、好ましくは1~5週間間隔で、1~10回、好ましくは2~3回免疫を行う。そして、最終の免疫日から6~60日後に酵素免疫測定法(ELISA[enzyme-linked immunosorbent assay]又はEIA[enzyme immunoassay])、放射性免疫測定法(RIA[radioimmuno assay])等で抗体価を測定し、所望の抗体価を示した日に採血し、抗血清を得る。上記抗体の採取方法において、抗体の精製が必要とされる場合は、硫安塩析法、イオン交換クロマトグラフィー、ゲル濾過、アフィニティークロマトグラフィー等の公知の方法を適宜選択して、又はこれらを組み合わせることにより精製することができる。

[0083]

その後は、抗血清中のポリクローナル抗体の反応性をELISA法などで測定する。

[0084]

- (3) モノクローナル抗体の作製
- (a)抗体産生細胞の採取

前記のように作製した抗原を、GANPトランスジェニック哺乳動物、例えばラット、マウス、ウサギなどに投与する。抗原の動物一匹あたりの投与量はアジュバントを用いないときは、0.05~2mgであり、アジュバントを用いるときは0.05~2mgである。アジュバントとしては、フロイント完全アジュバント(FCA)、フロイント不完全アジュバント(FIA)、水酸化アルミニウムアジュバント、BCG、トレハロースダイマイコレート(TDM)、リポ多糖(LPS)、シリカアジュバント等が挙げられるが、抗体の誘導能等の関係から、FCAとFIAとを組み合わせて使用することが好ましい。免疫は、主として静脈内、皮下、腹腔内に注入することにより行われる。また、免疫動物は、抗原の初回免疫後、さらに、追加免疫を数回行い、適当な日数を経過した後に部分採血を行い、上記方法で抗体価を測定することが好ましい。本発明の方法で産生される抗体は高親和性抗体であるため、上記免疫は初回のみで十分である可能性がある。免疫の間隔は特に限定されず、数日から数週間間隔、好ましくは2~5週間間隔で、1~10回、好ましくは1~5回免疫を行う。そして、最終の免疫日から1~60日後、好ましくは1~14日後に抗体産生細胞を採集する。抗体産生細胞としては、脾臓細胞、リンパ節細胞、末梢血細胞などが挙げられるが、脾臓細胞、又は局所リンパ節細胞が好ましい。

[0085]

上記のようにして得られる本発明の高親和性抗体産生細胞も本発明に含まれる。

[0086]

(b) 細胞融合

例えば、GANPトランスジェニックマウスを用いた場合、ハイブリドーマを得るため、抗体産生細胞とミエローマ細胞との細胞融合を行う。抗体産生細胞と融合させるミエローマ細胞として、マウスなどの動物の一般に入手可能な株化細胞を使用することができる。使用する細胞株としては、薬剤選択性を有し、未融合の状態ではHAT選択培地(ヒポキサンチン、アミノプテリン、チミジンを含む)で生存できず、抗体産生細胞と融合した状態でのみ生存できる性質を有するものが好ましい。ミエローマ細胞としては、例えば、P3-X63 .Ag8(X63)、P3-X63 .Ag8.U1(P3U1)、P3/NS I/1-Ag4-1(NSI)、Sp2/0-Ag14(Sp2/0)等のマウスミエローマ細胞株を挙げることができる。ミエローマ細胞の選択に当たっては、抗体産生細胞との適合性を適宜考慮する。

[0087]

次に、上記ミエローマ細胞と抗体産生細胞とを細胞融合させる。細胞融合は、血清を含まないDMEM、RPMI-1640培地などの動物細胞用培地中で、 $1\times10^6\sim1\times10^7$ 個/mlの抗体産生細胞と $2\times10^5\sim2\times10^6$ 個/mlのミエローマ細胞とを混合し(抗体産生細胞とミエローマ細胞との細胞比5:1が好ましい)、細胞融合促進剤存在の下で融合反応を行う。細胞融合促進剤として、平均分子量 $1000\sim6000$ ダルトン(D)のポリエチレングリコールなどを使

用することができる。また、電気刺激(例えばエレクトロポレーション)を利用した市販 の細胞融合装置を用いて、抗体産生細胞とミエローマ細胞とを融合させることもできる。

[0088]

(c) ハイブリドーマの選別及びクローニング

細胞融合処理後の細胞から目的とするハイブリドーマを選別する。その方法として、細胞懸濁液を例えばウシ胎児血清含有RPMI-1640培地などに適当に希釈後、マイクロタイタープレート上にまき、各ウェルに選択培地を加え、以後適当に選択培地を交換して培養を行う。その結果、選択培地で培養開始後、14日前後から生育してくる細胞をハイブリドーマとして得ることができる。

[0089]

次に、増殖してきたハイブリドーマの培養上清中に、gp120に反応する抗体が存在するか否かをスクリーニングする。ハイブリドーマのスクリーニングは、通常の方法に従えばよく、特に限定されるものではない。例えば、ハイブリドーマとして生育したウェルに含まれる培養上清の一部を採集し、ELISA、EIA、RIAなどによってスクリーニングすることができる。

[0090]

融合細胞のクローニングは、限界希釈法等により行う。gp120に強い反応性を示す抗体であって、親和性を示す値が $KD=1\times10^{-9}$ (M)以下である抗体を産生するハイブリドーマを選択し、樹立する。

[0091]

(d) モノクローナル抗体の採取

樹立したハイブリドーマを培養し、得られる培養物からモノクローナル抗体を採取する 方法として、通常の細胞培養法、又は腹水形成法等を採用することができる。「培養」と は、上記ハイブリドーマをシャーレやディッシュで生育すること、または上記ハイブリド ーマを下記のように腹腔内で増殖することを意味する。また、「培養物」とは、培養上清 、培養細胞若しくはその破砕物、又は腹水のいずれをも意味するものである。

[0092]

細胞培養法においては、ハイブリドーマを10%ウシ胎児血清含有RPMI-1640培地、MEM培地又は無血清培地等の動物細胞培養培地中で、通常の培養条件(例えば37℃、5%CO2濃度)で7~14日間培養し、その培養上清から抗体を取得する。

[0093]

腹水形成法の場合は、ミエローマ細胞由来の哺乳動物と同種系動物の腹腔内にハイブリドーマを約 1×10^7 個投与し、ハイブリドーマを大量に増殖させる。そして、 $1\sim2$ 週間後に腹水を採集する。

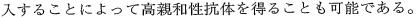
[0094]

上記抗体の採取方法において、抗体の精製が必要とされる場合は、硫安塩析法、イオン 交換クロマトグラフィー、ゲル濾過、アフィニティークロマトグラフィー等の公知の方法 を適宜選択して、又はこれらを組み合わせることにより精製することができる。

[0095]

(e) モノクローナル抗体の結合領域の利用

モノクローナル抗体はHIV抗原に結合することで感染阻止、およびHIVウイルスの中和、排除を行う活性を有するが、その際にはH鎖ではどのV領域遺伝子を用いているか、どのD領域の遺伝子、J領域遺伝子を用いているか、さらにN配列が挿入されているか、またどのL鎖のV領域遺伝子を用いているか、J領域遺伝子を用いているかが高親和性抗体作製の基盤になる。しかし、結合親和性に関しては、これらに加えて、末梢のリンパ組織で誘導されるV領域遺伝子の体細胞突然変異の程度によって大きく変化する。ここではモノクローナル抗体の抗原結合に関わる領域、すなわちH鎖とL鎖のそれぞれ3つのCDR領域の構造によって、体細胞突然変異の程度が決まる。したがって、本発明で得られる高親和性の結合領域の情報を用いれば、ヒトのEBウイルスでトランスフォームした記憶B細胞株で抗HIV抗体産生細胞を樹立して、そのV領域にここで得られている情報を直接遺伝子操作技術で導



[0096]

(4) 抗体断片、ヒト型化抗体又はヒト化抗体

上記の抗体の断片及びV領域の一本鎖抗体も本発明の範囲内である、抗体の断片としては、前述したポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体の一部分の領域を意味し、具体的には $F(ab')_2$ 、Fab'、Fab、 $Fv(variable\ fragment\ of\ antibody)、<math>Fv(disulphid\ e\ stabilized\ Fv)$ 、あるいは $Ab(single\ domain\ antibody)$ 等が挙げられる。一本鎖抗体は、VL(L鎖可変領域)とVR(H鎖可変領域)をリンカーでつないだ構造を持つ。

[0097]

本発明の高親和性抗体は、ヒト型化抗体やヒト抗体でも良い。これらの抗体は、免疫系をヒトのものと入れ換えた哺乳動物を用いて、該哺乳動物を免疫して、通常のモノクローナル抗体と同様に直接ヒト抗体を作製することができる。

[0098]

ヒト型化抗体を作製する場合は、マウス抗体の可変領域から相補性決定領域(complemen tarity determining region; CDR)をヒト可変領域に移植して、フレームワーク領域(FR)はヒト由来のものを、CDRはマウス由来のものからなる再構成した可変領域を作製する。

[0099]

次にこれらのヒト型化された再構成ヒト可変領域をヒト定常領域に連結する。ヒト型化 抗体の作製法は、当分野において周知である。

$[0\ 1\ 0\ 0]$

ヒト抗体は、一般にV領域の抗原結合部位、すなわち超過変領域(Hyper Variable regio n)についてはその特異性と結合親和性が問題となるが、構造的にどの動物で作製してもかまわない。一方V領域のその他の部分や定常領域の構造は、ヒトの抗体と同じ構造をしていることが望ましい。ヒトに共通の遺伝子配列については遺伝子工学的手法によって作製する方法が確立されている。

[0101]

(5)抗体の特性

本発明のGANPトランスジェニック哺乳動物より産生される抗体は、以下の(i)~(iv)の 少なくとも1つの性質を有する。

$[0\ 1\ 0\ 2\]$

(i) HIVの外被膜にある分子量120kDの糖タンパク質抗原gp120と結合して、HIVを中和する。

$[0\ 1\ 0\ 3\]$

(ii) HIVに感染された細胞の表面に結合することによって、感染された細胞と感染されないT細胞により誘発される合胞体の形成を阻止する。

[0104]

(iii) gp120(308-330) の領域の少なくとも一部のエピトープを認識する。

[0105]

(iv) gp120(308-330) 領域の少なくとも一部に対し、高親和性(KD=1×10 $^{-9}$ (M)以下)に結合する。

$[0\ 1\ 0\ 6\]$

合胞体とは、感染細胞が非感染細胞を取り込んで一つの細胞になることをいう。in vit roでHIVを細胞と培養すると、合胞体が形成されることがあり、このような合胞体は、生存できずに死滅する。HIVの中でも合胞体を作りやすいSI型HIVの感染者では、CD4⁺リンパ球の減少が早く、エイズへの進展が早く起こることが知られている。

[0107]

6. 医薬組成物

本発明の高親和性抗体は、AIDSの病原であるHIVを抗原として、その活性を中和させる作用を有するため、AIDSの治療又は予防用医薬組成物として有用である。本発明の医薬組成物は、本発明の高親和性抗体又はその断片を有効成分として含み、さらに薬学的に許容

される担体を含む医薬組成物の形態で提供することが好ましい。

[0108]

ここで「薬学的に許容され得る担体」とは、賦形剤、希釈剤、増量剤、崩壊剤、安定剤、保存剤、緩衝剤、乳化剤、芳香剤、着色剤、甘味剤、粘稠剤、矯味剤、溶解補助剤あるいはその他の添加剤等が挙げられる。そのような担体の一つ以上を用いることにより、注射剤、液剤、カプセル剤、懸濁剤、乳剤あるいはシロップ剤等の形態の医薬組成物を調製することができる。これらの医薬組成物は、経口あるいは非経口的に投与することができる。非経口投与のためのその他の形態としては、一つまたはそれ以上の活性物質を含み、常法により処方される注射剤などが含まれる。

[0109]

本発明の薬剤の投与量は、患者の年齢、性別、体重及び症状、治療効果、投与方法、処理時間、あるいは該薬剤に含有される活性成分である高親和性抗体の種類などにより異なるが、通常成人一人当たり、一回につき $10\,\mu$ gから1000mg、好ましくは $10\,\mu$ gから100mgの範囲で投与することができるが、この範囲に限定されるものではない。体液量は、体重を60 k g とすると 5 リットルと産出できる。抗体の有効な濃度は in vitro の実験では 5 ~50 μ g/ml である場合が多く、単純に計算すると 25 ~250 mg の抗体が少なくとも数日間体内で存在することが望ましい。

[0110]

例えば、注射剤の場合には、例えば生理食塩水あるいは市販の注射用蒸留水等の薬学的に許容される担体中に 0.1μ g抗体/ml担体~10mg抗体/ml担体の濃度となるように溶解または懸濁することにより製造することができる。このようにして製造された注射剤は、処置を必要とするヒト患者に対し、1回の投与において1kg体重あたり、 1μ g~100mgの割合で、好ましくは 50μ g~50mgの割合で、1日あたり1回~数回投与することができる。投与の形態としては、静脈内注射、皮下注射、皮内注射、筋肉内注射あるいは腹腔内注射などが挙げられるが、好ましくは静脈内注射である。また、注射剤は、場合により、非水性の希釈剤(例えばプロピレングリコール、ポリエチレングリコール、オリーブ油のような植物油、エタノールのようなアルコール類など)、懸濁剤あるいは乳濁剤として調製することができる。そのような注射剤の無菌化は、フィルターによる濾過滅菌、殺菌剤の配合等により行うことができる。注射剤は、用時調製の形態として製造することができる。即ち、凍結乾燥法などによって無菌の固体組成物とし、使用前に無菌の注射用蒸留水または他の溶媒に溶解して使用することができる。

$[0\ 1\ 1\ 1]$

7. HIV検出キット

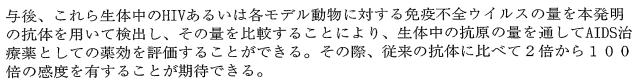
本発明の高親和性抗体は、疾患の診断、治療又は予防のための薬剤として有用である。

[0112]

本発明の抗体を用いたHIV感染の検出は、被験者から採取した検体、例えば唾液や血液等と本発明の抗体又はその断片とを抗原抗体反応によって結合させ、結合した抗体量により検体中の目的とする抗原の量を測定することにより行う。抗体量の検出は、公知の免疫学的測定法に従って行えばよく、例えば、免疫沈降法、免疫凝集法、標識免疫測定法、免疫比懸濁法などを用いることができる。特に、標識免疫測定法が簡便且つ高感度という点で好ましい。標識免疫測定法では、検体中の抗体価は標識抗体を用いて直接検出した標識量で表すほか、既知濃度あるいは既知抗体価の抗体を標準液として相対的に表してもよい。すなわち、標準液と検体を測定計により測定し、標準液の値を基準にして検体中の抗体価を相対的に表すことができる。標識免疫測定法としては、公知の測定法、例えばELISA法、EIA法、RIA法、蛍光免疫測定法(Fluoroimmunoassay: FIA)、化学発光免疫測定法(Luminescence immunoassay)などを任意に利用することができる。

[0113]

また、本発明の高親和性抗体を利用することにより、AIDS治療薬の薬効評価を高感度に行うことができる。本発明の高親和性抗体を利用した薬効評価方法は、AIDS患者あるいはヒトリンパ細胞を移入して作製したAIDSモデル動物(SCID-Huマウス)に対して薬剤を投



[0114]

本発明の高親和性抗体は、各種疾患診断用キットの形態で提供することができる。該キットは、本発明の診断方法や本発明の薬効評価方法に使用することができる。また、輸血製剤や、生体サンプルのHIVウイルス感染有無のチェックをするための、高感度で、敏速で、簡便なキットとして使用できる。本発明のキットは以下の(a)及び(b)から選ばれる少なくとも一つ以上を含む。

[0115]

- (a)本発明の抗体又はその標識物
- (b)前項(a)記載の抗体又はその標識物を固定した固相化試薬

ここで、抗体の標識物とは、酵素、放射性同位体、蛍光化合物、または化学発光化合物によって標識されたものを意味する。

[0116]

本発明のキットは、上記の構成要素の他、本発明の検出を実施するための他の試薬、例えば標識物が酵素標識物の場合は、酵素基質(発色性基質等)、酵素基質溶解液、酵素反応停止液、あるいは検体用希釈液等を含んでいても良い。

[0117]

以下、実施例により本発明をさらに具体的に説明するが、本発明は実施例によって限定されるものではない。

[0118]

本実施例は、通常免疫に用いられることの多いBalb/c マウス、野生型(WT)マウス及びGANPトランスジェニック(Tg)マウスの3種のマウスに、免疫抗原としてHIVの中和活性が期待できるHIV24NL43(308-330)のペプチドをキャリアー蛋白に結合したものを免疫した。それぞれのマウスの中から各2匹を用いて細胞融合を行い、ELISA法、BIACOREによる測定にてスクリーニングし、陽性ハイブリドーマを得た。さらに各ハイブリドーマから得られた精製抗体を用いて、ELISA法およびBIACOREを用いた解析を実施した。

[0119]

その結果、GANPトランスジェニック(Tg)マウスから得られたモノクローナル抗体(3クローン)は、かなりの高親和性モノクローナル抗体であり、親和性の指標となる解離定数は高いものではKD(KD = k diss / k ass)= 9.90×10^{-11} (M)であった。

【実施例1】

[0120]

GANPトランスジェニック (Tg) マウスの作製

マウスへの導入用遺伝子は、pLGベクターのXhoIサイトに5.6 kbのマウスGANP遺伝子を挿入して作製した。このベクターはヒト免疫グロブリンイントロンエンハンサー領域(2 kb EcoRIフラグメント)を持ち、B細胞での強力な発現を行う、特異的ベクターである。この遺伝子を直線化してマウスに遺伝子導入を行った。マウスGANP全長cDNAを含む線状化したpLG vector(Koike, M. et al. Int. Immunol. 7, 21–30 (1995))をC57BL/6 マウスの受精卵にマイクロインジェクションした。マウスの尾のゲノムDNAおよび以下のプライマー及び反応液を用いて導入遺伝子の存在についてスクリーニングした(図1、上パネル)。図1上パネルにおいて、5.3kb付近のバンドはGANP遺伝子のものである。

[0121]

1-5'プライマー:5'-TCCCGCCTTCCAGCT GTGAC-3'(配列番号7)

1-3'プライマー:5'-GTGCTGCTGTTATGTCCT-3' (配列番号8)

反応液組成:

DNA (50 ng/ μ l)	1 μ1
10x buffer	$2.0~\mu\mathrm{l}$
2.5 mM dNTP mix	$2.0 \mu 1$
1-5' primer (10 μ M)	0.8 μ 1
1-3' primer (10 μ M)	$0.8 \ \mu 1$
Z-Taq DNA polymerase	0.1 μ 1
$ m dH_2O$	13.3 μ 1

反応条件:

[98℃ 5 sec; 59℃ 5 sec; 72℃ 10 sec] ×35 サイクル 4℃

GANP mRNAの発現が亢進しているか否かは、RT-PCRで確認した。

[0122]

全RNAは、脾臓又は脾臓B細胞からTrizol (Invitrogen)を用いて抽出し、RT-PCRは、2種のプライマー1-5'及び 1-3'を用いて行い、cDNAを合成した(Kuwahara, K. et al., Bloo d 95, 2321-2328 (2000))。GANP 転写物はアガロースゲル電気泳動により検出した。 β -アクチン転写物は対照として用いた。

[0123]

その結果、GANPトランスジェニックマウスは、B細胞でGANPの発現の増加を示し(図1、下パネル)、骨髄、脾臓及びリンパ節の細胞の表層マーカー分析において、B系細胞の通常の分化を示した。

【実施例2】

[0124]

抗体の作製

- (1) 材料
- (a)動物: Balb/c マウス、野生型(WT)マウスとGANPトランスジェニック(Tg)マウス
 - (b)免疫抗原:HIV24NL43ペプチドKLHコンジュゲーション
- (c) ELISA抗原:HIV24NL43 ペプチド(配列:CNNTRKSIRIQRGPGRAFVTIGKI(配列番号 9))
 - (d)ミエローマ細胞:P3-X63.Ag8.U1
 - (e) 2 次抗体:HRP標識抗マウス抗体IgG・A・M
- (2) 方法

上記3種のマウスの各5匹に、免疫抗原としてNL42ペプチド(キャリアータンパク質:KLH)を、2週間おきに3回免疫し、3回免疫後採血抗血清を用いて抗体価をELISA法にて測定した。

[0125]

この中から、力価の高いマウス各 2 匹から抗体産生細胞(脾細胞)を採取し、脾細胞と P3U1ミエローマ細胞との細胞融合を実施した。GANP-Tgマウスの脾細胞数が 0.2×10^5 /ウェルになるようにまきこみ、それぞれ、Balb/c マウス:5448クローン、野生型 (WT) マウス:1888クローン、GANPトランスジェニック (Tg) マウス:2016クローンをHAT培地にて培養した。

[0126]

HAT培養9日後の培養上清を用いて、NL42ペプチド(1マイクロg/mL)を固相化抗原としてELISA法を実施した。GANP-TgマウスおよびWTの培養上清の母集団のそれぞれから、ELISAの結果にて490nm吸光度1.50以上のクローンを選出し、HT培地にてクローニングを実施した。

[0127]

HT培養 9 日後の培養上清を用いて、NL42ペプチド(1マイクロg/mL)を固相化抗原としてELISA法を実施した結果、Balb/c マウスは 3 クローン(クローン名:B1-10, B2-24, B2-27)、野生型(WT)マウスは 9 クローン(クローン名:W1-2, W1-7, W1-8, W1-10, W1-21, W1-43, W1-45, W1-63, W1-84)、GANPトランスジェニック(Tg)マウスTgは8クローン(クローン名:G1-22, G1-68, G1-124, G1-165, G1-181, G2-231, G2-10, G-25)のハイブリドーマを樹立した。

[0128]

GANP-Tgマウス、WTのそれぞれのクローンをRPMI培地にて培養し、さらに、無血清培地であるSFM培地にて培養し、Protein G精製によって、抗ペプチドモノクローナル精製抗体を作製した。

【実施例3】

[0129]

親和性測定

上記実施例2で作製した各モノクローナル抗体を用いて、以下の評価検討を実施した。

$[0\ 1\ 3\ 0\]$

抗体の親和性を評価するにあたり、ELISA法とBIACOREによる解析を実施した。

$[0\ 1\ 3\ 1\]$

まず、ELISA法は、HIV24NL43ペプチド 1 マイクロg/mLをそれぞれ固相化抗原として用い、室温にて 1 時間固相化した。PBSTween20洗浄後、2.0% skim milkにてブロッキングを実施した。さらにPBSTween20洗浄後、評価する抗ペプチドモノクローナル抗体($0.457\sim1$ マイクロg/mL)を用いて、室温にて 1 時間反応させた。次に、サンプルをPBSTween20洗浄後、HRP標識抗マウス 1 gG・A・Mと室温にて 1 時間反応させた。さらに、PBSTween20洗浄し、オルトフェニレンジアミン(OPD)にて 5 分間発色させ、2 N硫酸を用いて反応を停止した。

[0132]

吸光度は、ELISA PLATE READERを用いて、490nmにて測定した。

[0133]

ELISAの結果を図2に示す。

$[0\ 1\ 3\ 4\]$

GANP-Tgマウスを用いることにより、極めて高い結合能を有する3つの抗体が作製された(図2、吸光度 $1.4\sim2.1$ 付近)。これらのモノクローナル抗体のクローン名は、吸光度の高い順にG1-181、G2-10、G2-25である。

[0135]

次に、BIACOREを用いて物理化学的結合能を調べた。

[0136]

BIACOREによる解析は、HIV24NL43ペプチドをリガンドとしてBIACOREセンサーチップに結合させたものに、アナライト溶液として、抗ペプチドモノクローナル抗体を用いて、それぞれの結合速度定数(k ass)、解離速度定数(k diss)、そして親和性の指標となる解離定数KD(KD = k diss / k ass)を算出した。KDが低い程、親和性は高いと評価される

[0137]

抗体の親和性の総合評価として、各クローンの解離定数とELISAの結果を合わせて、図3に示す。図3において、クローンと解離定数との関係は以下の通りである。

[0138]

クローン

解離定数 (M)

G1-181

 1.09×10^{-8}

G2-10

 9.90×10^{-11}

G2-25

 1.51×10^{-10}

抗体の親和性を検討するにはBiacoreによる感度測定による方法が現在のところ最も信頼できるが、この際の解離定数は単位時間当たりに結合する抗体の結合速度定数を結合し

た抗体の解離定数で割った数値として便宜的に算出される。抗体の活性はこのペプチドに対する親和性に加えて、抗体がどれだけ短時間で抗原に結合しうるかも重要な要素である。生体内でできるだけ速やかにウイルスと結合し、その結果ウイルス抗原の分子構造に変化を加えて、一層強固な結合状態に入ることも期待できる。G1-181クローンは解離定数算出ではそれほど高いとはいえないものの、結合定数のプロファイルでは最も急速に多くの抗原分子と結合するという点で優れている。

[0139]

通常、モノクローナル抗体作製のために用いるBalb/c マウスから得られた抗体は、解離定数KD= $4.97\times10^{-6}\sim5.68\times10^{-9}$ (M) で、低親和性でかつ少数の抗体しか得ることができず、陰性コントロールの野生型 (WT) マウスにおいても、解離定数KD= $2.81\times10^{-5}\sim3.11\times10^{-9}$ (M) の範囲までしか得られず、限界があった。

[0140]

これらに対して、GANPトランスジェニック(Tg)マウスにおいては、解離定数KD= 9.9 0×10^{-11} (M) という高親和性抗体(G2-10)を得ることができ、この親和性は、Balb/c マウスのクローンの57倍、野生型(WT)マウスの31倍も高親和性であるといえる。

【図面の簡単な説明】

[0141]

【図1】B細胞におけるGANPの発現の増加を示す図である。

【図2】ELISAを用いて各抗体によるgp120(308-330)ペプチドを検出した結果を示す図である。

【図3】各クローンの解離定数を測定した結果を示す図である。

【配列表フリーテキスト】

[0142]

配列番号 7 : プライマー 配列番号 8 : プライマー

出証特2004-3029373

【配列表】

SEQUENCE LISTING

<110>	Kumamo	oto Tecl	nnology	& In	dust	ry Fo	ound	atio	ı				
<120>	anti-E	HIV ant	ibody										
<130>	P03-01	.80											
<160>	9												
<170>	Patent	In ver	sion 3.2										
<210> <211> <212> <213>	1 6429 DNA Mus mu	ısclus											
<220> <221> <222>	CDS (384).	. (6299))										
<400> gttgcgg	l gtgc gg	gtgggcc	cg gtaga	ggctį	g ca	cgcag	gact	gtgg	ggcga	agc :	acaa	gcgctg	60
gcgaca	gtgg cc	gtatctg	gg cggac	ttgc	t cc	tccci	tccg	cggo	cctcc	egc	tgtc	ccttgt	120
gtcttt	gccg ag	ttgctga	aa ggcct	tcac	t ag	tctto	cgct	cgaa	aggcg	gtc	tgtta	aaccta	180
gcggccs	ggct tc	cggagtg	gt taagc	atcg	g gg:	ataaa	aaag	cta	ttatt	tc	tagao	ccaggg	240
catcgca	aagt to	gagtta	cc gggag	aaaaa	a tga	agatg	ggtc	atco	ctgag	gga	tgaag	ggagag	300
cttccc	ctgg ca	acagata	aa tttaa	agagg	g aga	agcta	actt	gtgi	tatag	gtc (catai	tttatt	360
gccttca	agat aa	ttggcti	tg aag a M 1							-		gc agc ly Ser 10	413
			gcg gta Ala Val			_		_				_	461
		ro Phe	cga ttt Arg Phe								_		509
			agc ctg Ser Leu										557

2/

					特	:願 2	0 0	3 —	4 1	8 6	5 5				
		45					50					55			
		tct Ser													
		acc Thr													
		gca Ala													
		aag Lys													
ttt Phe	ggg Gly	cca Pro 125	gaa Glu	acc Thr	gga Gly	gaa Glu	gta Val 130	gca Ala	ggt Gly	tct Ser	ggc Gly	ttt Phe 135	cgg Arg	aag Lys	acg Thr
		aag Lys													
		gag Glu													
		aca Thr													
		tct Ser													

ttt atc ttt tcg aaa cca gtt act agt aat act cct gcc ttt gcc tct

Phe Ile Phe Ser Lys Pro Val Thr Ser Asn Thr Pro Ala Phe Ala Ser

cct ttg tct aac caa aat gta gaa gaa gag aag agg gtt tct acg tca Pro Leu Ser Asn Gln Asn Val Glu Glu Glu Lys Arg Val Ser Thr Ser

gcg ttt gga agc tca aac agt agc ttc agt act ttc ccc aca gcg tca

Ala Phe Gly Ser Ser Asn Ser Ser Phe Ser Thr Phe Pro Thr Ala Ser

			ttg Leu		Glu					Asn					Arg	
caa Gln	gga Gly	tgt Cys	gag Glu 270	gaa Glu	gcc Ala	atc Ile	tcc Ser	cag Gln 275	Val	gag Glu	cca Pro	ctt Leu	ccc Pro 280	Thr	ctc Leu	1229
			tta Leu										Pro			
			gag Glu									Ser				1325
			gat Asp													1373
			ggc Gly													1421
			ctg Leu 350													1469
cct Pro	ggg Gly	gaa Glu 365	agt Ser	gac Asp	cac His	gcg Ala	gcc Ala 370	gtc Val	cca Pro	gga Gly	ggg Gly	agt Ser 375	cag Gln	tcc Ser	acc Thr	1517
atg Met	gta Val 380	cct Pro	tcc Ser	cgc Arg	ctt Leu	cca Pro 385	gct Ala	gtg Val	act Thr	aaa Lys	gag Glu 390	gaa Glu	gaa Glu	gaa Glu	agt Ser	1565
aga Arg 395	gat Asp	gag Glu	aaa Lys	gaa Glu	gat Asp 400	tct Ser	ctc Leu	agg Arg	gga Gly	aag Lys 405	tct Ser	gtg Val	cgc Arg	cag Gln	agt Ser 410	1613
aag Lys	cga Arg	agg Arg	gaa Glu	gag Glu 415	tgg Trp	atc Ile	tac Tyr	agc Ser	ctc Leu 420	ggg Gly	ggc Gly	gtg Val	tct Ser	tct Ser 425	tta Leu	1661
gag Glu	ctc Leu	Thr	gcc Ala 430	atc Ile	cag Gln	tgc Cys	Lys	aac Asn 435	atc Ile	ccc Pro	gac Asp	tac Tyr	ctc Leu 440	aac Asn	gac Asp	1709
aga Arg	gcc Ala	atc Ile	ctg Leu	gag Glu	aaa Lys	cac His	ttc Phe	agc Ser	aaa Lys	atc Ile	gct Ala	Lys	Val	cag Gln	Arg	1757

445		450	455	
	aga cgc agc aag Arg Arg Ser Lys 465			
	gca gcc ctg gct Ala Ala Leu Ala 480			
	atc ttt tgg cac Ile Phe Trp His 495			
Leu Phe Pro I	ctg aag gag aag Leu Lys Glu Lys 510			
	tcc ccc ttt cag Ser Pro Phe Gln			
	gcc ggc agc ctc Ala Gly Ser Leu 545			
	ctg aag atg cac Leu Lys Met His 560			
	ggc tcc gag ggc Gly Ser Glu Gly 575			
Thr Leu Ile (ggg act gtg gca Gly Thr Val Ala 590			· Arg Leu
	aga gac cgc atc Arg Asp Arg Ile			
	aaa gcc agg gca Lys Ala Arg Ala 625			
	gag cgg tac ttg Glu Arg Tyr Leu 640			

ttt Phe	gaa Glu	gtt Val	gtc Val	cca Pro 655	ggg Gly	act Thr	gac Asp	cag Gln	gtg Val 660	gac Asp	cat His	gca Ala	gca Ala	gcc Ala 665	gtg Val	2381
aag Lys	gag Glu	tac Tyr	agc Ser 670	cgg Arg	tcc Ser	tct Ser	gca Ala	gat Asp 675	cag Gln	gag Glu	gag Glu	ccc Pro	ctg Leu 680	cca Pro	cat His	2429
gag Glu	ctg Leu	aga Arg 685	ccc Pro	tca Ser	gca Ala	gtt Val	ctc Leu 690	agc Ser	agg Arg	acc Thr	atg Met	gac Asp 695	tac Tyr	ctg Leu	gtg Val	2477
acc Thr	cag Gln 700	atc Ile	atg Met	gac Asp	caa Gln	aag Lys 705	gaa Glu	ggc Gly	agc Ser	ctt Leu	cgg Arg 710	gat Asp	tgg Trp	tat Tyr	gac Asp	2525
ttc Phe 715	gtg Val	tgg Trp	aac Asn	cgc Arg	acc Thr 720	cgg Arg	ggt Gly	ata Ile	cgg Arg	aag Lys 725	gac Asp	ata Ile	aca Thr	cag Gln	cag Gln 730	2573
cac His	ctc Leu	tgt Cys	gat Asp	ccc Pro 735	ctg Leu	acg Thr	gtg Val	tct Ser	ctg Leu 740	atc Ile	gag Glu	aag Lys	tgt Cys	acc Thr 745	cga Arg	2621
ttt Phe	cac His	att Ile	cac His 750	Cys	gcc Ala	cac His	ttt Phe	atg Met 755	Cys	gag Glu	gag Glu	cct Pro	atg Met 760	tct Ser	tcc Ser	2669
ttt Phe	gat Asp	gcc Ala 765	Lys	atc Ile	aac Asn	aat Asn	gag Glu 770	Asn	atg Met	acc Thr	aag Lys	tgt Cys 775		cag Gln	agt Ser	2717
ctg Let	aag Lys 780	Glu	atg Met	tac Tyr	cag Gln	gac Asp 785	Leu	agg Arg	aac Asn	aag Lys	ggt Gly 790	'Val	ttt Phe	tgt Cys	gcc Ala	2765
agt Ser 795	Glu	gca Ala	gag Glu	ttt Phe	cag Gln 800	Gly	tac Tyr	aat Asr	gtc Val	ctg Leu 805	Let	aat Asn	ctc Leu	aac Asn	aaa Lys 810	2813
gga Gly	n gac 7 Asp	att Ile	ttg Leu	g aga ı Arg 815	g Glu	ıgtg ıVal	cag Glr	g cag n Glr	g tto Phe 820	His	cct Pro	gac Asp	gtt Val	agg Arg 825	aac Asn	2861
tco Sei	c cca Pro	a gag Glu	g gtg ı Val 830	Asr	ttc Phe	gct Ala	gto Val	c cag l Glr 835	ı Ala	ttt a Phe	gct Ala	gca a Ala	a ttg a Leu 840	Asr	agc Ser	2909
aat Ası	t aat n Asr	ttt n Phe	gtg e Val	g aga I Arg	a ttt g Phe	tto Phe	aaa Lys	a ctg s Lei	g gti ı Val	t cag I Glr	g tca n Sei	r Ala	a Ser	· Tyı	ctg Leu	2957

				าง	「加头 乙	0 0	3	4 1	0 0	5 5						
ı		845				850					855					
					-				cag Gln		_	_			30)05
									agc Ser 885						30)53
	_								ctg Leu						31	101
		_							ggc Gly						31	149
									ttg Leu						31	197
									cgg Arg						32	245
	-	 -	_					-	ccc Pro 965		_		_		32	293
									aag Lys						33	341
													Ası	c cca o Pro	33	389
			Gly				o Cy		ag go lu Al		lu Va				34	134

cca aca ttg gcg gtc ctc cca cag ccg cct cct gca tcc tca gcc

Pro Thr Leu Ala Val Leu Pro Gln Pro Pro Pro Ala Ser Ser Ala

1025

acg ccg gcg ctt cat gtc cag cca ctg gcc cca gcc gca gca ccc Thr Pro Ala Leu His Val Gln Pro Leu Ala Pro Ala Ala Ala Pro

1040

1020

1035

1030

1045

3479

3524

				cag Gln 1055					3569
				tcg Ser 1070					3614
				caa Gln 1085					3659
				gcc Ala 1100					3704
				act Thr 1115					3749
				gtt Val 1130					3794
				gag Glu 1145					3839
				ctg Leu 1160					3884
				gag Glu 1175					3929
				aaa Lys 1190					3974
Arg				tgt Cys 1205					4019
Ala			Gln	act Thr 1220					4064
				cta Leu		Arg	Glu	Ala	4109

	1230					1235					1240			
gca gct Ala Ala		Lys					Gln					Pro		4154
gcg cca Ala Pro	tgc Cys 1260	Cys	gtg Val	gat Asp	gtg Val	aat Asn 1265	Asp	cgg Arg	ctg Leu	cag Gln	gca Ala 1270	cta Leu	gtg Val	4199
ccc agc Pro Ser	gca Ala 1275	gag Glu	tgc Cys	ccc Pro	att Ile	act Thr 1280	gag Glu	gag Glu	aac Asn	ctg Leu	gcc Ala 1285	aag Lys	ggt Gly	4244
ctt ttg Leu Leu														4289
agg ttg Arg Leu														4334
cag cac Gln His	ttc Phe 1320	cac His	cag Gln	cag Gln	ctg Leu	ctg Leu 1325	agg Arg	aat Asn	gct Ala	gca Ala	tgg Trp 1330	gca Ala	cct Pro	4379
ctg gac Leu Asp														4424
aag cga Lys Arg		ttt Phe	tgg Trp	aaa Lys	ctg Leu	gtg Val 1355	ctg Leu	gtg Val	ttg Leu	cct Pro	gat Asp 1360	gtg Val	gaa Glu	4469
gag cag Glu Gln														4514
aag gtc Lys Val											gac Asp 1390			4559
gat aat : Asp Asn :	gct Ala 1395	ggt Gly	gat Asp	atc Ile	cag Gln	acc Thr 1400	ctc Leu	tca Ser	gtc Val	ttt Phe	aat Asn 1405	aca Thr	ctt Leu	4604
agt agt a	aaa Lys 1410	ggg Gly	gat Asp	caa GIn	Thr	gtt Val 1415	tct Ser	gtc Val	aac Asn	Val	tgt Cys 1420	ata Ile	aag Lys	4649

			gac Asp 1430	Ser						4694
			 acc Thr 1445	_		_	_	_		4739
			gag Glu 1460							4784
			ctc Leu 1475					gcc Ala	_	4829
			ctg Leu 1490							4874
	_		gca Ala 1505	_	 		_	_		4919
			ctg Leu 1520						_	4964
			gat Asp 1535							5009
			atc Ile 1550							5054
			gtt Val 1565							5099
			ttt Phe 1580							5144
			cag Gln 1595							5189
			ttc Phe			Val	Val	Ser		5234

J	1605					1610				1615			
gag cag o Glu Gln I	_	-	-				_	_	_		_	_	5279
gtg gga g Val Gly (_	_	_			-						5324
gag cat o Glu His I													5369
cca cag a Pro Gln M		_					-						5414
tgt tcc a Cys Ser M	_	_		_			_			_			5459
cag aca o	_		_		_		 _						5504
aga aca t Arg Thr 1											ggc Gly		5549
gag ttg g Glu Leu (_	_		_		_	_			5594
acc tta t Thr Leu (5639
ctc cct g Leu Pro V													5684
gtg tat 1 Val Tyr I										_		_	5729
tca tgg g Ser Trp (5774

agt cat gga cgt tcg ggg atg agg tcc atc cat cct cct aca agc Ser His Gly Arg Ser Gly Met Arg Ser Ile His Pro Pro Thr Ser 1800 1805 1810	5819
act ttt cct act cca ttg ctt cat gta cac cag aaa ggg aag aaa Thr Phe Pro Thr Pro Leu Leu His Val His Gln Lys Gly Lys Lys 1815 1820 1825	5864
aag gaa gag agt ggc cga gag ggg agc ctc agt aca gag gac ctc Lys Glu Glu Ser Gly Arg Glu Gly Ser Leu Ser Thr Glu Asp Leu 1830 1835 1840	5909
ctg cgg ggg gct tct gca gaa gag ctc ctg gca cag agt ctg tcc Leu Arg Gly Ala Ser Ala Glu Glu Leu Leu Ala Gln Ser Leu Ser 1845 1850 1855	5954
agc agt ctt ctg gaa gag aag gaa gag aac aag agg ttt gaa gat Ser Ser Leu Leu Glu Glu Lys Glu Glu Asn Lys Arg Phe Glu Asp 1860 1865 1870	5999
caa ctt cag cag tgg tta tcg caa gac tca cag gca ttc aca gag Gln Leu Gln Gln Trp Leu Ser Gln Asp Ser Gln Ala Phe Thr Glu 1875 1880 1885	6044
tca act cgg ctt cct ctc tac ctc cct cag acg cta gtg tcc ttt Ser Thr Arg Leu Pro Leu Tyr Leu Pro Gln Thr Leu Val Ser Phe 1890 1895 1900	6089
cct gat tct atc aaa act cag acc atg gtg aaa aca tct aca agt Pro Asp Ser Ile Lys Thr Gln Thr Met Val Lys Thr Ser Thr Ser 1905 1910 1915	6134
cct cag aat to a gga aca gga aag cag ttg agg tto to a gag gca Pro Gln Asn Ser Gly Thr Gly Lys Gln Leu Arg Phe Ser Glu Ala 1920 1925 1930	6179
tcc ggt tca tcc ctg acg gaa aag ctg aag ctc ctg gaa agg ctg Ser Gly Ser Ser Leu Thr Glu Lys Leu Lys Leu Leu Glu Arg Leu 1935 1940 1945	6224
atc cag agc tca agg gcg gaa gaa gca gcc tcc gag ctg cac ctc Ile Gln Ser Ser Arg Ala Glu Glu Ala Ala Ser Glu Leu His Leu 1950 1955 1960	6269
tct gca ctg ctg gag atg gtg gac atg tag ctgtctgacg ggagacggat Ser Ala Leu Leu Glu Met Val Asp Met 1965 1970	6319
ctctaattca taatgctttg tctgtattca attgtgttat agatgctgtt ggaaatgtga	6379

ctattaatta tgcaaataaa ctttttgaat cattccaaaa aaaaaaccat

<210> 2

<211> 1971

<212> PRT

<213> Mus musclus

<400> 2

Met His Pro Val Asn Pro Phe Gly Gly Ser Ser Pro Ser Ala Phe Ala 1 5 10 15

Val Ser Ser Ser Thr Thr Gly Thr Tyr Gln Thr Lys Ser Pro Phe Arg 20 25 30

Phe Gly Gln Pro Ser Leu Phe Gly Gln Asn Ser Thr Pro Ser Lys Ser 35 40 45

Leu Ala Phe Ser Gln Val Pro Ser Phe Ala Thr Pro Ser Gly Gly Ser 50 55 60

His Ser Ser Ser Leu Pro Ala Phe Gly Leu Thr Gln Thr Ser Ser Val 65 70 75 80

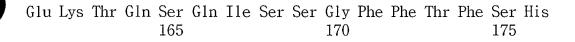
Gly Leu Phe Ser Ser Leu Glu Ser Thr Pro Ser Phe Ala Ala Thr Ser 85 90 95

Ser Ser Ser Val Pro Gly Asn Thr Ala Phe Ser Phe Lys Ser Thr Ser 100 105 110

Ser Val Gly Val Phe Pro Ser Gly Ala Thr Phe Gly Pro Glu Thr Gly 115 120 125

Glu Val Ala Gly Ser Gly Phe Arg Lys Thr Glu Phe Lys Phe Lys Pro 130 135 140

Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Pro Gly Pro Glu Ser Glu Pro 145 150 155 160



Pro Val Gly Ser Gly Ser Gly Gly Leu Thr Pro Phe Ser Phe Pro Gln 180 185 190

Val Thr Asn Ser Ser Val Thr Ser Ser Ser Phe IIe Phe Ser Lys Pro 195 200 205

Val Thr Ser Asn Thr Pro Ala Phe Ala Ser Pro Leu Ser Asn Gln Asn 210 215 220

Val Glu Glu Glu Lys Arg Val Ser Thr Ser Ala Phe Gly Ser Ser Asn 225 230 235 240

Ser Ser Phe Ser Thr Phe Pro Thr Ala Ser Pro Gly Ser Leu Gly Glu 245 250 255

Pro Phe Pro Ala Asn Lys Pro Ser Leu Arg Gln Gly Cys Glu Glu Ala 260 265 270

Ile Ser Gln Val Glu Pro Leu Pro Thr Leu Met Lys Gly Leu Lys Arg 275 280 285

Lys Glu Asp Gln Asp Arg Ser Pro Arg Arg His Cys His Glu Ala Ala 290 295 300

Glu Asp Pro Asp Pro Leu Ser Arg Gly Asp His Pro Pro Asp Lys Arg 305 310 315 320

Pro Val Arg Leu Asn Arg Pro Arg Gly Gly Thr Leu Phe Gly Arg Thr 325 330 335

Ile Gln Glu Val Phe Lys Ser Asn Lys Glu Ala Gly Arg Leu Gly Ser 340 345 350

Lys Glu Ser Lys Glu Ser Gly Phe Ala Glu Pro Gly Glu Ser Asp His 355 360 365

- Ala Ala Val Pro Gly Gly Ser Gln Ser Thr Met Val Pro Ser Arg Leu 370 375 380
- Pro Ala Val Thr Lys Glu Glu Glu Glu Ser Arg Asp Glu Lys Glu Asp 385 390 395 400
- Ser Leu Arg Gly Lys Ser Val Arg Gln Ser Lys Arg Arg Glu Glu Trp 405 410 415
- Ile Tyr Ser Leu Gly Gly Val Ser Ser Leu Glu Leu Thr Ala Ile Gln 420 425 430
- Cys Lys As
n Ile Pro Asp Tyr Leu As
n Asp Arg Ala Ile Leu Glu Lys $435 \hspace{1.5cm} 440 \hspace{1.5cm} 445 \hspace{1.5cm}$
- His Phe Ser Lys Ile Ala Lys Val Gln Arg Val Phe Thr Arg Arg Ser 450 455 460
- Lys Lys Leu Ala Val IIe His Phe Phe Asp His Ala Ser Ala Ala Leu 465 470 475 480
- Ala Arg Lys Lys Gly Lys Gly Leu His Lys Asp Val Val Ile Phe Trp 485 490 495
- His Lys Lys Ile Ser Pro Ser Lys Lys Leu Phe Pro Leu Lys Glu 500 505 510
- Lys Leu Gly Glu Ser Glu Ala Ser Gln Gly Ile Glu Asp Ser Pro Phe 515 520 525
- Gln His Ser Pro Leu Ser Lys Pro Ile Val Arg Pro Ala Ala Gly Ser 530 540
- Leu Leu Ser Lys Ser Ser Pro Val Lys Lys Pro Ser Leu Leu Lys Met 545 550 555 560

- His Gln Phe Glu Ala Asp Pro Phe Asp Ser Gly Ser Glu Gly Ser Glu 565 570 575
- Gly Leu Gly Ser Cys Val Ser Ser Leu Ser Thr Leu Ile Gly Thr Val 580 585 590
- Ala Asp Thr Ser Glu Glu Lys Tyr Arg Leu Leu Asp Gln Arg Asp Arg 595 600 605
- Ile Met Arg Gln Ala Arg Val Lys Arg Thr Asp Leu Asp Lys Ala Arg 610 615 620
- Ala Phe Val Gly Thr Cys Pro Asp Met Cys Pro Glu Lys Glu Arg Tyr 625 630 635 640
- Leu Arg Glu Thr Arg Ser Gln Leu Ser Val Phe Glu Val Val Pro Gly 645 650 655
- Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala Ala Val Lys Glu Tyr Ser Arg Ser 660 665 670
- Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro His Glu Leu Arg Pro Ser Ala 675 680 685
- Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu Val Thr Gln Ile Met Asp Gln 690 695 700
- Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr Asp Phe Val Trp Asn Arg Thr 705 710 715 720
- Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln Gln His Leu Cys Asp Pro Leu 725 730 735
- Thr Val Ser Leu Ile Glu Lys Cys Thr Arg Phe His Ile His Cys Ala 740 745 750
- His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser Ser Phe Asp Ala Lys Ile Asn 755 760 765

- Asn Glu Asn Met Thr Lys Cys Leu Gln Ser Leu Lys Glu Met Tyr Gln 770 775 780
- Asp Leu Arg Asn Lys Gly Val Phe Cys Ala Ser Glu Ala Glu Phe Gln 785 790 795 800
- Gly Tyr Asn Val Leu Leu Asn Leu Asn Lys Gly Asp Ile Leu Arg Glu 805 810 815
- Val Gln Gln Phe His Pro Asp Val Arg Asn Ser Pro Glu Val Asn Phe 820 825 830
- Ala Val Gln Ala Phe Ala Ala Leu Asn Ser Asn Asn Phe Val Arg Phe 835 840 845
- Phe Lys Leu Val Gln Ser Ala Ser Tyr Leu Asn Ala Cys Leu Leu His 850 855 860
- Cys Tyr Phe Asn Gln Ile Arg Lys Asp Ala Leu Arg Ala Leu Asn Val 865 870 875 880
- Ala Tyr Thr Val Ser Thr Gln Arg Ser Thr Val Phe Pro Leu Asp Gly 885 890 895
- Val Val Arg Met Leu Leu Phe Arg Asp Ser Glu Glu Ala Thr Asn Phe 900 905 910
- Leu Asn Tyr His Gly Leu Thr Val Ala Asp Gly Cys Val Glu Leu Asn 915 920 925
- Arg Ser Ala Phe Leu Glu Pro Glu Gly Leu Cys Lys Ala Arg Lys Ser 930 935 940
- Val Phe Ile Gly Arg Lys Leu Thr Val Ser Val Gly Glu Val Val Asn 945 950 955 960

- Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg His Thr Pro Val Cys Ser Phe 965 970 975
- Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Val Gly Glu Ser Leu Ala Thr Glu Leu Pro 980 985 990
- Ile Ser Thr Gln Arg Ala Gly Gly Asp Pro Ala Gly Gly Gly Arg Gly 995 1000 1005
- Glu Asp Cys Glu Ala Glu Val Asp Leu Pro Thr Leu Ala Val Leu 1010 1015 1020
- Pro Gln Pro Pro Pro Ala Ser Ser Ala Thr Pro Ala Leu His Val 1025 1030 1035
- Gln Pro Leu Ala Pro Ala Ala Ala Pro Ser Leu Leu Gln Ala Ser 1040 1045 1050
- Thr Gln Pro Glu Val Leu Leu Pro Lys Pro Ala Pro Val Tyr Ser 1055 1060 1065
- Asp Ser Asp Leu Val Gln Val Val Asp Glu Leu Ile Gln Glu Ala 1070 1075 1080
- Leu Gln Val Asp Cys Glu Glu Val Ser Ser Ala Gly Ala Ala Tyr 1085 1090 1095
- Val Ala Ala Ala Leu Gly Val Ser Asn Ala Ala Val Glu Asp Leu 1100 1105 1110
- Ile Thr Ala Ala Thr Thr Gly Ile Leu Arg His Val Ala Ala Glu 1115 1120 1125
- Glu Val Ser Met Glu Arg Gln Arg Leu Glu Glu Glu Lys Gln Arg 1130 1135 1140
- Ala Glu Glu Glu Arg Leu Lys Gln Glu Arg Glu Leu Met Leu Thr 1145 1150 1155

- Gln Leu Ser Glu Gly Leu Ala Ala Glu Leu Thr Glu Leu Thr Val 1160 1165 1170
- Thr Glu Cys Val Trp Glu Thr Cys Ser Gln Glu Leu Gln Ser Ala 1175 1180 1185
- Val Lys Ile Asp Gln Lys Val Arg Val Ala Arg Cys Cys Glu Ala 1190 1195 1200
- Val Cys Ala His Leu Val Asp Leu Phe Leu Ala Glu Glu Ile Phe 1205 1210 1215
- Gln Thr Ala Lys Glu Thr Leu Gln Glu Leu Gln Cys Phe Cys Lys 1220 1225 1230
- Tyr Leu Gln Arg Trp Arg Glu Ala Val Ala Ala Arg Lys Lys Phe 1235 1240 1245
- Arg Arg Gln Met Arg Ala Phe Pro Ala Ala Pro Cys Cys Val Asp 1250 1255 1260
- Val Asn Asp Arg Leu Gln Ala Leu Val Pro Ser Ala Glu Cys Pro 1265 1270 1275
- Ile Thr Glu Glu Asn Leu Ala Lys Gly Leu Leu Asp Leu Gly His 1280 1285 1290
- Ala Gly Lys Val Gly Val Ser Cys Thr Arg Leu Arg Arg Leu Arg 1295 1300 1305
- Asn Lys Thr Ala His Gln Ile Lys Val Gln His Phe His Gln Gln 1310 1315 1320
- Leu Leu Arg Asn Ala Ala Trp Ala Pro Leu Asp Leu Pro Ser Ile 1325 1330 1335

- Val Ser Glu His Leu Pro Met Lys Gln Lys Arg Arg Phe Trp Lys 1340 1345 1350
- Leu Val Leu Val Leu Pro Asp Val Glu Glu Gln Thr Pro Glu Ser 1355 1360 1365
- Pro Gly Arg Ile Leu Glu Asn Trp Leu Lys Val Lys Phe Thr Gly 1370 1375 1380
- Asp Asp Ser Met Val Gly Asp Ile Gly Asp Asn Ala Gly Asp Ile 1385 1390 1395
- Gln Thr Leu Ser Val Phe Asn Thr Leu Ser Ser Lys Gly Asp Gln 1400 1405 1410
- Thr Val Ser Val Asn Val Cys Ile Lys Val Ala His Gly Thr Leu 1415 1420 1425
- Ser Asp Ser Ala Leu Asp Ala Val Glu Thr Gln Lys Asp Leu Leu 1430 1435 1440
- Gly Thr Ser Gly Leu Met Leu Leu Leu Pro Pro Lys Val Lys Ser 1445 1450 1455
- Glu Glu Val Ala Glu Glu Glu Leu Ser Trp Leu Ser Ala Leu Leu 1460 1465 1470
- Gln Leu Lys Gln Leu Leu Gln Ala Lys Pro Phe Gln Pro Ala Leu 1475 1480 1485
- Pro Leu Val Val Leu Val Pro Ser Ser Arg Gly Asp Ser Ala Gly 1490 1495 1500
- Arg Ala Val Glu Asp Gly Leu Met Leu Gln Asp Leu Val Ser Ala 1505 1510 1515
- Lys Leu Ile Ser Asp Tyr Ile Val Val Glu Ile Pro Asp Ser Val 1520 1525 1530

- Asn Asp Leu Gln Gly Thr Val Lys Val Ser Gly Ala Val Gln Trp 1535 1540 1545
- Leu IIe Ser Gly Cys Pro Gln Ala Leu Asp Leu Cys Cys Gln Thr 1550 1555 1560
- Leu Val Gln Tyr Val Glu Asp Gly Ile Ser Arg Glu Phe Ser Arg 1565 1570 1575
- Arg Phe Phe His Asp Arg Arg Glu Arg Arg Leu Ala Ser Leu Pro 1580 1585 1590
- Ser Gln Glu Pro Ser Thr Ile Ile Glu Leu Phe Asn Ser Val Leu 1595 1600 1605
- Gln Phe Leu Ala Ser Val Val Ser Ser Glu Gln Leu Cys Asp Ile 1610 1615 1620
- Ser Trp Pro Val Met Glu Phe Ala Glu Val Gly Gly Ser Gln Leu 1625 1630 1635
- Leu Pro His Leu His Trp Asn Ser Pro Glu His Leu Ala Trp Leu 1640 1645 1650
- Lys Gln Ala Val Leu Gly Phe Gln Leu Pro Gln Met Asp Leu Pro 1655 1660 1665
- Pro Pro Gly Ala Pro Trp Leu Pro Val Cys Ser Met Val Ile Gln 1670 1675 1680
- Tyr Thr Ser Gln Ile Pro Ser Ser Ser Gln Thr Gln Pro Val Leu 1685 1690 1695
- Gl
n Ser Gl
n Ala Glu Asn Leu Leu Cys Arg Thr Tyr Gl
n Lys Trp1700 1705 1710

- Lys Asn Lys Ser Leu Ser Pro Gly Gln Glu Leu Gly Pro Ser Val 1715 1720 1725
- Ala Glu $\,$ Ile Pro Trp Asp Asp $\,$ Ile Ile Thr Leu Cys $\,$ Ile Asn His $\,$ 1730 $\,$ 1735 $\,$ 1740
- Lys Leu Arg Asp Trp Thr Pro Pro Arg Leu Pro Val Thr Leu Glu 1745 1750 1755
- Ala Leu Ser Glu Asp Gly Gln Ile Cys Val Tyr Phe Phe Lys Asn 1760 1765 1770
- Leu Leu Arg Lys Tyr His Val Pro Ser Ser Trp Glu Gln Ala Arg 1775 1780 1785
- Met Gln Thr Gln Arg Glu Leu Gln Leu Ser His Gly Arg Ser Gly 1790 1795 1800
- Met Arg Ser Ile His Pro Pro Thr Ser Thr Phe Pro Thr Pro Leu 1805 1810 1815
- Leu His Val His Gln Lys Gly Lys Lys Glu Glu Ser Gly Arg 1820 1825 1830
- Glu Gly Ser Leu Ser Thr Glu Asp Leu Leu Arg Gly Ala Ser Ala 1835 1840 1845
- Glu Glu Leu Leu Ala Gln Ser Leu Ser Ser Ser Leu Leu Glu Glu 1850 1855 1860
- Lys Glu Glu Asn Lys Arg Phe Glu Asp Gln Leu Gln Gln Trp Leu 1865 1870 1875
- Ser Gln Asp Ser Gln Ala Phe Thr Glu Ser Thr Arg Leu Pro Leu 1880 1885 1890
- Tyr Leu Pro Gln Thr Leu Val Ser Phe Pro Asp Ser Ile Lys Thr 1895 1900 1905

Gln Thr Met Val Lys Thr Ser Thr Ser Pro Gln Asn Ser Gly Thr 1910 1915 1920	
Gly Lys Gln Leu Arg Phe Ser Glu Ala Ser Gly Ser Ser Leu Thr 1925 1930 1935	
Glu Lys Leu Lys Leu Leu Glu Arg Leu Ile Gln Ser Ser Arg Ala 1940 1945 1950	
Glu Glu Ala Ala Ser Glu Leu His Leu Ser Ala Leu Leu Glu Met 1955 1960 1965	
Val Asp Met 1970	
<210> 3 <211> 6114 <212> DNA <213> Homo sapiens	
<220> <221> CDS <222> (38)(5977)	
<pre><400> 3 gtaatactta attaccttct aataattgga gcagaag atg aac cca act aat cct</pre>	55
ttc agt ggg cag cag cct agt gct ttt tcg gcg tct tct agt aat gta Phe Ser Gly Gln Gln Pro Ser Ala Phe Ser Ala Ser Ser Ser Asn Val 10 15 20	103
gga aca ctt cca tct aag ccg cca ttt cga ttt ggt caa cct tct ctt Gly Thr Leu Pro Ser Lys Pro Pro Phe Arg Phe Gly Gln Pro Ser Leu 25 30 35	151
ttt gga caa aac agt acc tta tct ggg aag agc tcg gga ttt tca cag Phe Gly Gln Asn Ser Thr Leu Ser Gly Lys Ser Ser Gly Phe Ser Gln 40 45 50	199
gta tcc agc ttt cca gcg tct tct gga gta agt cat tcc tct tca gtg	247

)	Val 55	Ser	Ser	Phe	Pro	Ala 60	Ser	Ser	Gly	Val	Ser 65	His	Ser	Ser	Ser	Val 70	
																gga Gly	295
						acc Thr											343
						aca Thr											391
						act Thr											439
						ggg Gly 140											487
						cca Pro											535
						gct Ala											583
						ggc Gly											631
						act Thr											679
						tct Ser 220											727
				Glu		aga Arg			Lys								775
	aat Asn	agc Ser	Phe	agt Ser 250	agc Ser	ttc Phe	cct Pro	Val	tca Ser 255	tct Ser	gcg Ala	gtt Val	ttg Leu	ggc Gly 260	gaa Glu	cct Pro	823
													* T * ===	~ d-1r			

													gaa Glu	_		871
													aaa Lys		_	919
													cca Pro			967
													aaa Lys			1015
	_	_		-									cgg Arg 340	_		1063
													ggc Gly			1111
								_			_	_	agt Ser			1159
													tcc Ser			1207
													aag Lys			1255
													agc Ser 420			1303
						_				_	-		gcc Ala		_	1351
									_				ctg Leu			1399
cat	ttt	ggc	aaa	att	gct	aaa	gtg	cag	cgc	atc	ttt		agg 味っ		agc 4 - 3 0	1447
												11771	17th /	1111	4 – 5 ()	4 4 5 /

l	His 455	Phe	Gly	Lys	Ile	Ala 460	Lys	Val	Gln	Arg	Ile 465	Phe	Thr	Arg	Arg	Ser 470	
														gca Ala			1495
														atc Ile 500			1543
														ctg Leu			1591
														gat Asp			1639
														ggt Gly			1687
	_		_			_								ctt Leu			1735
	_						_							gag Glu 580			1783
	gag Glu	ggc Gly	ctc Leu 585	ggg Gly	cca Pro	tgt Cys	gtg Val	ctc Leu 590	tcc Ser	ctc Leu	agt Ser	acc Thr	ctg Leu 595	ata Ile	ggc Gly	act Thr	1831
														cag Gln			1879
																gcg Ala 630	1927
											Cys					agg Arg	1975
														gtg Val 660		cca Pro	2023
													山雪	に胜り	0 0	1 4 3 (1203

							_	_	-	gtg Val			_		2071
								_		cac His		-		_	2119
										gtg Val 705					2167
										gac Asp				_	2215
										cag Gln					2263
							_	_		cgg Arg				_	2311
										tcc Ser			-		2359
										agc Ser 785					2407
										gcc Ala					2455
		_								aag Lys		_		_	2503
										aac Asn					2551
Phe										agt Ser					2599
ttt	ttc	aaa	ctg	gtc	cag	tca	gct	tct	tac	ctg	aac			tta	2647

Phe 855	Phe	Lys	Leu	Val	Gln 860	Ser	Ala	Ser	Ту1	: Let 86		n Ala	Cys	Leu	Leu 870	
	_			_	_		_	_		Al:		c cgg u Arg				2695
									g Se			c ttt e Phe				2743
								Arg				a gag u Glu 915	Ala			2791
												gc tgt y Cys 30				2839
											u Se	cc aag er Lys				2887
										1 Se		cc ggg al Gly			Val	2935
									o Ar			ec cet ir Pro		Cys		2983
								Gl				tg gco eu Ala 995	ı Ala			3031
		Se:					0					gtg Val 1010				3076
		G1					1 (ccc Pro 1025				3121
		G1:					a F					cca Pro 1040				3166
		Vа				u Th						ccc Pro 1055				3211

		Ser					Pro				gag Glu 1070	Pro			3256
_	tac Tyr 1075	Ser					Ala				gac Asp 1085				3301
		Ala					Cys				ggc Gly 1100				3346
		Tyr					Leu				aat Asn 1115				3391
		Leu									ttg Leu 1130				3436
gca Ala	gct Ala 1135	gaa Glu	gaa Glu	gtg Val	tct Ser	aag Lys 1140	gaa Glu	aga Arg	gag Glu	cga Arg	agg Arg 1145	gag Glu	cag Gln	gag Glu	3481
		Arg									gag Glu 1160				3526
											gag Glu 1175				3571
cgc Arg	gtg Val 1180	atg Met	atg Met	gag Glu	ttt Phe	gtg Val 1185	agg Arg	gaa Glu	acc Thr	tgc Cys	tcc Ser 1190	cag Gln	gag Glu	ttg Leu	3616
aag Lys	aat Asn 1195	gca Ala	gta Val	gag Glu	aca Thr	gac Asp 1200	cag Gln	agg Arg	gtc Val	cgt Arg	gtg Val 1205	gcc Ala	cgt Arg	tgc Cys	3661
tgt Cys	gag Glu 1210	gat Asp	gtc Val	tgt Cys	gcc Ala	cac His 1215	tta Leu	gtg Val	gac Asp	ttg Leu	ttt Phe 1220	ctc Leu	gtg Val	gag Glu	3706
	atc Ile 1225	ttc Phe	cag Gln	act Thr	Ala	aag Lys 1230	gag Glu	acc Thr	ctc Leu	cag Gln	gag Glu 1235	ctt Leu	cag Gln	tgc Cys	3751
ttc	tgc	aag	tat	cta	cag	cgg	tgg	agg	gaa	gct	gtc 出言			cgc	3796

Phe	Cys 1240	Lys	Tyr	Leu	Gln	Arg 1245	Trp	Arg	Glu	Ala	Val 1250	Thr	Ala	Arg	
aag Lys	aaa Lys 1255	ctg Leu	agg Arg	cgc Arg	caa Gln	atg Met 1260	cgg Arg	gct Ala	ttc Phe	cct Pro	gct Ala 1265	gcg Ala	ccc Pro	tgc Cys	3841
						cgg Arg 1275									3886
						gag Glu 1290									3931
ctg Leu	ggc Gly 1300	cat His	gca Ala	ggg Gly	aga Arg	ttg Leu 1305	ggc Gly	atc Ile	tct Ser	tgc Cys	acc Thr 1310	agg Arg	tta Leu	agg Arg	3976
cgg Arg	ctc Leu 1315	Arg	aac Asn	aag Lys	aca Thr	gct Ala 1320	cac His	cag Gln	atg Met	aag Lys	gtt Val 1325	cag Gln	cac His	ttc Phe	4021
						gat Asp 1335									4066
		Leu				cac His 1350						Glu			4111
ttt Phe	tgg Trp 1360	Lys	ctg Leu	gtg Val	ctg Leu	gtg Val 1365	Leu	ccg Pro	gat Asp	gta Val	gag Glu 1370	Glu	cag Gln	tcc Ser	4156
		Ser				att Ile 1380	Leu					Lys			4201
		Gly				tca Ser 1395	Val					Ser			4246
		Ile				tcg Ser 1410	Leu					Ser			4291
		Gln				gtt Val 1425	Asn					Val			4336

	gcc Ala 1435													4381
_	ctc Leu 1450													4426
	aag Lys 1465													4471
_	ttg Leu 1480	_	_		_	_		_	_	_	-		_	4516
	gcg Ala 1495			_		_				_			 _	4561
	gtt Val 1510													4606
	tca Ser 1525					tca Ser 1530								4651
	acc Thr 1540													4696
	cag Gln 1555													4741
	cag Gln 1570				_			_	-					4786
	agt Ser 1585													4831
	ctt Leu 1600	_		_	_			_				-		4876
agt	gtg	ctg	cag	ttc	ctg	gct	tct	gtg	gtg	tcc			ctg 0 4 - 3 (4921

Ser	Val 1615	Leu	Gln	Phe	Leu	Ala 1620	Ser	Val	Val	Ser	Ser 1625	Glu	Gln	Leu	
											gag Glu 1640				4966
											cca Pro 1655				5011
											ctt Leu 1670				5056
											gtg Val 1685				5101
	gtc Val 1690										cgc Arg 1700				5146
											cac His 1715				5191
_											cat His 1730	Gly			5236
ccc Pro	tcg Ser 1735	gtc Val	atg Met	gag Glu	atc Ile	cca Pro 1740	tgg Trp	gat Asp	gat Asp	ctt Leu	atc Ile 1745	Ala	ttg Leu	tgt Cys	5281
		His									cgg Arg 1760	Leu			5326
		Glu									tgt Cys 1775	Val			5371
		Asn	_	_				_	_		ttg Leu 1790	Ser			5416
		Arg					Lys				ctg Leu 1805	Arg			5461

_				_		ttt Phe 1815				_					5506
					_	cac His 1830	_			_		_			5551
						att Ile 1845									5596
						ctc Leu 1860									5641
						gag Glu 1875									5686
_			_		_	gac Asp 1890			_		_	_			5731
						cct Pro 1905	_			_					5776
	att Ile 1915	_			_	aaa Lys 1920			-			_		-	5821
_	_	_	_			caa Gln 1935	_	_	_						5866
	-			_		cta Leu 1950			_	_					5911
						gtt Val 1965									5956
_	cta Leu 1975	_	_		_	att Ile 1980	tga	gcago	cct (gacci	tgtggg	g ga	gggg	gtct	6007

ttggaaatgt gattaattta atcatgcaga taaaccattt aaatgtc

6114

<210> 4

<211> 1980

<212> PRT

<213> Homo sapiens

<400> 4

Met Asn Pro Thr Asn Pro Phe Ser Gly Gln Gln Pro Ser Ala Phe Ser 1 5 10 15

Ala Ser Ser Ser Asn Val Gly Thr Leu Pro Ser Lys Pro Pro Phe Arg 20 25 30

Phe Gly Gln Pro Ser Leu Phe Gly Gln Asn Ser Thr Leu Ser Gly Lys 35 40 45

Ser Ser Gly Phe Ser Gln Val Ser Ser Phe Pro Ala Ser Ser Gly Val 50 55 60

Ser His Ser Ser Ser Val Gln Thr Leu Gly Phe Thr Gln Thr Ser Ser 65 70 75 80

Val Gly Pro Phe Ser Gly Leu Glu His Thr Ser Thr Phe Val Ala Thr 85 90 95

Ser Gly Pro Ser Ser Ser Ser Val Leu Gly Asn Thr Gly Phe Ser Phe 100 105 110

Lys Ser Pro Thr Ser Val Gly Ala Phe Pro Ser Thr Ser Ala Phe Gly 115 120 125

Gln Glu Ala Gly Glu Ile Val Asn Ser Gly Phe Gly Lys Thr Glu Phe 130 135 140

Ser Phe Lys Pro Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Leu Gly Ala 145 150 155 160

- Glu Ser Glu Pro Glu Lys Thr Gln Ser Gln Ile Ala Ser Gly Phe Phe 165 170 175
- Thr Phe Ser His Pro IIe Ser Ser Ala Pro Gly Gly Leu Ala Pro Phe 180 185 190
- Ser Phe Pro Gln Val Thr Ser Ser Ser Ala Thr Thr Ser Asn Phe Thr 195 200 205
- Phe Ser Lys Pro Val Ser Ser Asn Asn Ser Leu Ser Ala Phe Thr Pro 210 215 220
- Ala Leu Ser Asn Gln Asn Val Glu Glu Glu Lys Arg Gly Pro Lys Ser 225 230 235 240
- Ile Phe Gly Ser Ser Asn Asn Ser Phe Ser Ser Phe Pro Val Ser Ser 245 250 255
- Ala Val Leu Gly Glu Pro Phe Gln Ala Ser Lys Ala Gly Val Arg Gln 260 265 270
- Gly Cys Glu Glu Ala Val Ser Gln Val Glu Pro Leu Pro Ser Leu Met 275 280 285
- Lys Gly Leu Lys Arg Lys Glu Asp Gln Asp Arg Ser Pro Arg Arg His 290 295 300
- Gly His Glu Pro Ala Glu Asp Ser Asp Pro Leu Ser Arg Gly Asp His 305 310 315 320
- Pro Pro Asp Lys Arg Pro Val Arg Leu Asn Arg Pro Arg Gly Gly Thr 325 330 335
- Leu Phe Gly Arg Thr Ile Gln Asp Val Phe Lys Ser Asn Lys Glu Val 340 345 350
- Gly Arg Leu Gly Asn Lys Glu Ala Lys Lys Glu Thr Gly Phe Val Glu 出証特2004-3029373

360

365

Ser Ala Glu Ser Asp His Met Ala Ile Pro Gly Gly Asn Gln Ser Val 370 375 380

Leu Ala Pro Ser Arg Ile Pro Gly Val Asn Lys Glu Glu Glu Thr Glu 385 390 395 400

Ser Arg Glu Lys Lys Glu Asp Ser Leu Arg Gly Thr Pro Ala Arg Gln 405 410 415

Ser Asn Arg Ser Glu Ser Thr Asp Ser Leu Gly Gly Leu Ser Pro Ser 420 425 430

Glu Val Thr Ala Ile Gln Cys Lys Asn Ile Pro Asp Tyr Leu Asn Asp 435 440 445

Arg Thr Ile Leu Glu Asn His Phe Gly Lys Ile Ala Lys Val Gln Arg 450 455 460

Ile Phe Thr Arg Arg Ser Lys Lys Leu Ala Val Val His Phe Phe Asp 465 470 475 480

His Ala Ser Ala Ala Leu Ala Arg Lys Lys Gly Lys Ser Leu His Lys 485 490 495

Asp Met Ala Ile Phe Trp His Arg Lys Lys Ile Ser Pro Asn Lys Lys 500 505 510

Pro Phe Ser Leu Lys Glu Lys Lys Pro Gly Asp Gly Glu Val Ser Pro 515 520 525

Ser Thr Glu Asp Ala Pro Phe Gln His Ser Pro Leu Gly Lys Ala Ala 530 535 540

Gly Arg Thr Gly Ala Ser Ser Leu Leu Asn Lys Ser Ser Pro Val Lys 545 550 555 560

Lys Pro Ser Leu Leu Lys Ala His Gln Phe Glu Gly Asp Ser Phe Asp 565 570 575

Ser Ala Ser Glu Gly Ser Glu Gly Leu Gly Pro Cys Val Leu Ser Leu 580 585 590

Ser Thr Leu Ile Gly Thr Val Ala Glu Thr Ser Lys Glu Lys Tyr Arg 595 600 605

Leu Leu Asp Gln Arg Asp Arg Ile Met Arg Gln Ala Arg Val Lys Arg 610 615 620

Thr Asp Leu Asp Lys Ala Arg Thr Phe Val Gly Thr Cys Leu Asp Met 625 630 635 640

Cys Pro Glu Lys Glu Arg Tyr Met Arg Glu Thr Arg Ser Gln Leu Ser 645 650 655

Val Phe Glu Val Val Pro Gly Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala 660 665 670

Val Lys Glu Tyr Ser Arg Ser Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro 675 680 685

His Glu Leu Arg Pro Leu Pro Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu 690 695 700

Val Thr Gln Ile Met Asp Gln Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr 705 710 715 720

Asp Phe Val Trp Asn Arg Thr Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln 725 730 735

Arg Phe His Ile His Cys Ala His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser

760

765

Ser Phe Asp Ala Lys Ile Asn Asn Glu Asn Met Thr Lys Cys Leu Gln 770 775 780

Ser Leu Lys Glu Met Tyr Gln Asp Leu Arg Asn Lys Gly Val Phe Cys 785 790 795 800

Ala Ser Glu Ala Glu Phe Gln Gly Tyr Asn Val Leu Leu Ser Leu Asn 805 810 815

Lys Gly Asp Ile Leu Arg Glu Val Gln Gln Phe His Pro Ala Val Arg 820 825 830

Asn Ser Ser Glu Val Lys Phe Ala Val Gln Ala Phe Ala Ala Leu Asn 835 840 845

Ser Asn Asn Phe Val Arg Phe Phe Lys Leu Val Gln Ser Ala Ser Tyr 850 855 860

Leu Asn Ala Cys Leu Leu His Cys Tyr Phe Ser Gln Ile Arg Lys Asp 865 870 875 880

Ala Leu Arg Ala Leu Asn Phe Ala Tyr Thr Val Ser Thr Gln Arg Ser 885 890 895

Thr Ile Phe Pro Leu Asp Gly Val Val Arg Met Leu Leu Phe Arg Asp 900 905 910

Cys Glu Glu Ala Thr Asp Phe Leu Thr Cys His Gly Leu Thr Val Ser 915 920 925

Asp Gly Cys Val Glu Leu Asn Arg Ser Ala Phe Leu Glu Pro Glu Gly 930 935 940

Leu Ser Lys Thr Arg Lys Ser Val Phe Ile Thr Arg Lys Leu Thr Val 945 950 955 960

- Ser Val Gly Glu Ile Val Asn Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg 965 970 975
- His Thr Pro Val Cys Ser Phe Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Ile Gly Glu 980 985 990
- Ser Leu Ala Ala Glu Leu Pro Val Ser Thr Gln Arg Pro Gly Ser Asp 995 1000 1005
- Ala Pro Leu Ser Ser Leu Pro Gln Ser Leu Pro Ala Pro Ala Pro 1025 1030 1035
- Ser Pro Val Pro Leu Pro Pro Val Leu Ala Leu Thr Pro Ser Val 1040 1045 1050
- Ala Pro Ser Leu Phe Gln Leu Ser Val Gln Pro Glu Pro Pro 1055 1060 1065
- Pro Glu Pro Val Pro Met Tyr Ser Asp Glu Asp Leu Ala Gln Val 1070 1080
- Val Asp Glu Leu Ile Gln Glu Ala Leu Gln Arg Asp Cys Glu Glu 1085 1090 1095
- Val Gly Ser Ala Gly Ala Ala Tyr Ala Ala Ala Ala Leu Gly Val 1100 1105 1110
- Ser Asn Ala Ala Met Glu Asp Leu Leu Thr Ala Ala Thr Thr Gly 1115 1120 1125
- Ile Leu Arg His Ile Ala Ala Glu Glu Val Ser Lys Glu Arg Glu 1130 1135 1140
- Arg Arg Glu Glu Glu Arg Gln Arg Ala Glu Glu Glu Arg Leu Lys

1150

1155

- Gln Glu Arg Glu Leu Val Leu Ser Glu Leu Ser Gln Gly Leu Ala 1160 1165 1170
- Val Glu Leu Met Glu Arg Val Met Met Glu Phe Val Arg Glu Thr 1175 1180 1185
- Cys Ser Gln Glu Leu Lys Asn Ala Val Glu Thr Asp Gln Arg Val 1190 1195 1200
- Arg Val Ala Arg Cys Cys Glu Asp Val Cys Ala His Leu Val Asp 1205 1210 1215
- Leu Phe Leu Val Glu Glu Ile Phe Gln Thr Ala Lys Glu Thr Leu 1220 1225 1230
- Gln Glu Leu Gln Cys Phe Cys Lys Tyr Leu Gln Arg Trp Arg Glu 1235 1240 1245
- Ala Val Thr Ala Arg Lys Lys Leu Arg Arg Gl
n Met Arg Ala Phe1250 1255 1260
- Pro Ala Ala Pro Cys Cys Val Asp Val Ser Asp Arg Leu Arg Ala 1265 1270 1275
- Leu Ala Pro Ser Ala Glu Cys Pro Ile Ala Glu Glu Asn Leu Ala 1280 1285 1290
- Arg Gly Leu Leu Asp Leu Gly His Ala Gly Arg Leu Gly Ile Ser 1295 1300 1305
- Cys Thr Arg Leu Arg Arg Leu Arg Asn Lys Thr Ala His Gln Met 1310 1315 1320
- Lys Val Gln His Phe Tyr Gln Gln Leu Leu Ser Asp Val Ala Trp 1325 1330 1335

- Ala Ser Leu Asp Leu Pro Ser Leu Val Ala Glu His Leu Pro Gly 1340 1345 1350
- Arg Gln Glu His Val Phe Trp Lys Leu Val Leu Val Leu Pro Asp 1355 1360 1365
- Val Glu Glu Gln Ser Pro Glu Ser Cys Gly Arg Ile Leu Ala Asn 1370 1375 1380
- Trp Leu Lys Val Lys Phe Met Gly Asp Glu Gly Ser Val Asp Asp 1385 1390 1395
- Thr Ser Ser Asp Ala Gly Gly Ile Gln Thr Leu Ser Leu Phe Asn 1400 1405 1410
- Ser Leu Ser Ser Lys Gly Asp Gln Met Ile Ser Val Asn Val Cys 1415 1420 1425
- Ile Lys Val Ala His Gly Ala Leu Ser Asp Gly Ala Ile Asp Ala 1430 1435 1440
- Val Glu Thr Gln Lys Asp Leu Leu Gly Ala Ser Gly Leu Met Leu 1445 1450 1455
- Leu Leu Pro Pro Lys Met Lys Ser Glu Asp Met Ala Glu Glu Asp 1460 1465 1470
- Val Tyr Trp Leu Ser Ala Leu Leu Gln Leu Lys Gln Leu Leu Gln 1475 1480 1485
- Ala Lys Pro Phe Gln Pro Ala Leu Pro Leu Val Val Leu Val Pro 1490 1495 1500
- Ser Pro Gly Gly Asp Ala Val Glu Lys Glu Val Glu Asp Gly Leu 1505 1510 1515
- Met Leu Gln Asp Leu Val Ser Ala Lys Leu Ile Ser Asp Tyr Thr

1525

1530

- Val Thr Glu Ile Pro Asp Thr Ile Asn Asp Leu Gln Gly Ser Thr 1535 1540 1545
- Lys Val Leu Gln Ala Val Gln Trp Leu Val Ser His Cys Pro His 1550 1555 1560
- Ser Leu Asp Leu Cys Cys Gln Thr Leu Ile Gln Tyr Val Glu Asp 1565 1570 1575
- Gly Ile Gly His Glu Phe Ser Gly Arg Phe Phe His Asp Arg Arg 1580 1585 1590
- Glu Arg Arg Leu Gly Gly Leu Ala Ser Gln Glu Pro Gly Ala Ile 1595 1600 1605
- Ile Glu Leu Phe Asn Ser Val Leu Gln Phe Leu Ala Ser Val Val 1610 1620
- Ser Ser Glu Gln Leu Cys Asp Leu Ser Trp Pro Val Thr Glu Phe 1625 1630 1635
- Ala Glu Ala Gly Gly Ser Arg Leu Leu Pro His Leu His Trp Asn 1640 1645 1650
- Ala Pro Glu His Leu Ala Trp Leu Lys Gln Ala Val Leu Gly Phe 1655 1660 1665
- Gln Leu Pro Gln Met Asp Leu Pro Pro Leu Gly Ala Pro Trp Leu 1670 1680
- Pro Val Cys Ser Met Val Val Gln Tyr Ala Ser Gln Ile Pro Ser 1685 1690 1695
- Ser Arg Gln Thr Gln Pro Val Leu Gln Ser Gln Val Glu Asn Leu 1700 1705 1710

- Leu His Arg Thr Tyr Cys Arg Trp Lys Ser Lys Ser Pro Ser Pro 1715 1720 1725
- Val His Gly Ala Gly Pro Ser Val Met Glu Ile Pro Trp Asp Asp 1730 1735 1740
- Leu Ile Ala Leu Cys Ile Asn His Lys Leu Arg Asp Trp Thr Pro 1745 1750 1755
- Pro Arg Leu Pro Val Thr Ser Glu Ala Leu Ser Glu Asp Gly Gln 1760 1765 1770
- Ile Cys Val Tyr Phe Phe Lys Asn Asp Leu Lys Lys Tyr Asp Val 1775 1780 1785
- Pro Leu Ser Trp Glu Gln Ala Arg Leu Gln Thr Gln Lys Glu Leu 1790 1795 1800
- Gln Leu Arg Glu Gly Arg Leu Ala Ile Lys Pro Phe His Pro Ser 1805 1810 1815
- Ala Asn Asn Phe Pro Ile Pro Leu Leu His Met His Arg Asn Trp 1820 1825 1830
- Lys Arg Ser Thr Glu Cys Ala Gln Glu Gly Arg Ile Pro Ser Thr 1835 1840 1845
- Glu Asp Leu Met Arg Gly Ala Ser Ala Glu Glu Leu Leu Ala Gln 1850 1855 1860
- Cys Leu Ser Ser Ser Leu Leu Leu Glu Lys Glu Glu Asn Lys Arg 1865 1870 1875
- Phe Glu Asp Gln Leu Gln Gln Trp Leu Ser Glu Asp Ser Gly Ala 1880 1885 1890
- Phe Thr Asp Leu Thr Ser Leu Pro Leu Tyr Leu Pro Gln Thr Leu

1900

1905

Val Ser Leu Ser His Thr Ile Glu Pro Val Met Lys Thr Ser Val 1910 1915 1920

Thr Thr Ser Pro Gln Ser Asp Met Met Arg Glu Gln Leu Gln Leu 1925 1930 1935

Ser Glu Ala Thr Gly Thr Cys Leu Gly Glu Arg Leu Lys His Leu 1940 1945 1950

Glu Arg Leu Ile Arg Ser Ser Arg Glu Glu Glu Val Ala Ser Glu 1955 1960 1965

Leu His Leu Ser Ala Leu Leu Asp Met Val Asp Ile 1970 1975 1980

<210> 5

<211> 863

<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 5

Lys Glu Gln Lys Thr Val Ala Met Arg Val Lys Glu Lys Tyr Gln His 5 10 15

Leu Trp Arg Trp Gly Trp Arg Trp Gly Thr Met Leu Leu Gly Met Leu 20 25 30

Met Ile Cys Ser Ala Thr Glu Lys Leu Trp Val Thr Val Tyr Tyr Gly 35 40 45

Val Pro Val Trp Lys Glu Ala Thr Thr Thr Leu Phe Cys Ala Ser Asp 50 55 60

Ala Lys Ala Tyr Asp Thr Glu Val His Asn Val Trp Ala Thr His Ala 65 70 75 80

- Cys Val Pro Thr Asp Pro Asn Pro Gln Glu Val Val Leu Val Asn Val 85 90 95
- Thr Glu Asn Phe Asn Met Trp Lys Asn Asp Met Val Glu Gln Met His 100 105 110
- Glu Asp Ile Ile Ser Leu Trp Asp Gln Ser Leu Lys Pro Cys Val Lys 115 120 125
- Leu Thr Pro Leu Cys Val Ser Leu Lys Cys Thr Asp Leu Lys Asn Asp 130 135 140
- Thr Asn Thr Asn Ser Ser Ser Gly Arg Met Ile Met Glu Lys Gly Glu 145 150 155 160
- Ile Lys Asn Cys Ser Phe Asn Ile Ser Thr Ser Ile Arg Gly Lys Val 165 170 175
- Gln Lys Glu Tyr Ala Phe Phe Tyr Lys Leu Asp Ile Ile Pro Ile Asp 180 185 190
- Asn Asp Thr Thr Ser Tyr Thr Leu Thr Ser Cys Asn Thr Ser Val Ile 195 200 205
- Thr Gln Ala Cys Pro Lys Val Ser Phe Glu Pro Ile Pro Ile His Tyr 210 215 220
- Cys Ala Pro Ala Gly Phe Ala Ile Leu Lys Cys Asn Asn Lys Thr Phe 225 230 235 240
- Asn Gly Thr Gly Pro Cys Thr Asn Val Ser Thr Val Gln Cys Thr His 245 250 255
- Gly Ile Arg Pro Val Val Ser Thr Gln Leu Leu Leu Asn Gly Ser Leu 260 265 270
- Ala Glu Glu Val Val Ile Arg Ser Ala Asn Phe Thr Asp Asn Ala 275 280 285

Lys Thr Ile Ile Val Gln Leu Asn Gln Ser Val Glu Ile Asn Cys Thr 290 295 300

Arg Pro Asn Asn Asn Thr Arg Lys Ser Ile Arg Ile Gln Arg Gly Pro 305 310 315 320

Gly Arg Ala Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile Gly Asn Met Arg Gln Ala 325 330 335

His Cys Asn Ile Ser Arg Ala Lys Trp Asn Asn Thr Leu Lys Gln Ile 340 345 350

Asp Ser Lys Leu Arg Glu Gln Phe Gly Asn Asn Lys Thr Ile Ile Phe 355 360 365

Lys Gln Ser Ser Gly Gly Asp Pro Glu Ile Val Thr His Ser Phe Asn 370 375 380

Cys Gly Gly Glu Phe Phe Tyr Cys Asn Ser Thr Gln Leu Phe Asn Ser 385 390 395 400

Thr Trp Phe Asn Ser Thr Trp Ser Thr Lys Gly Ser Asn Asn Thr Glu 405 410 415

Gly Ser Asp Thr Ile Thr Leu Pro Cys Arg Ile Lys Gln Ile Ile Asn 420 425 430

Met Trp Gln Glu Val Gly Lys Ala Met Tyr Ala Pro Pro Ile Ser Gly 435 440 445

Gln Ile Arg Cys Ser Ser Asn Ile Thr Gly Leu Leu Leu Thr Arg Asp 450 455 460

Gly Gly Asn Ser Asn Asn Glu Ser Glu Ile Phe Arg Pro Gly Gly 465 470 475 480



Asp Met Arg Asp Asn Trp Arg Ser Glu Leu Tyr Lys Tyr Lys Val Val
485 490 495

Lys Ile Glu Pro Leu Gly Val Ala Pro Thr Lys Ala Lys Arg Arg Val 500 505 510

Val Gln Arg Glu Lys Arg Ala Val Gly Ile Gly Ala Leu Phe Leu Gly 515 520 525

Phe Leu Gly Ala Ala Gly Ser Thr Met Gly Ala Ala Ser Met Thr Leu 530 535 540

Thr Val Gln Ala Arg Gln Leu Leu Ser Gly Ile Val Gln Gln Gln Asn 545 550 555 560

Asn Leu Leu Arg Ala Ile Glu Ala Gln Gln His Leu Leu Gln Leu Thr 565 570 575

Val Trp Gly Ile Lys Gln Leu Gln Ala Arg Ile Leu Ala Val Glu Arg 580 585 590

Tyr Leu Lys Asp Gln Gln Leu Leu Gly Ile Trp Gly Cys Ser Gly Lys 595 600 605

Leu Ile Cys Thr Thr Ala Val Pro Trp Asn Ala Ser Trp Ser Asn Lys 610 615 620

Ser Leu Glu Gln IIe Trp Asn Asn Met Thr Trp Met Glu Trp Asp Arg 625 630 635 640

Glu Ile Asn Asn Tyr Thr Ser Leu Ile His Ser Leu Ile Glu Glu Ser 645 650 655

Gln Asn Gln Glu Lys Asn Glu Gln Glu Leu Leu Glu Leu Asp Lys 660 665 670

Trp Ala Ser Leu Trp Asn Trp Phe Asn Ile Thr Asn Trp Leu Trp Tyr 675 680 685

Ile Lys Leu Phe Ile Met Ile Val Gly Gly Leu Val Gly Leu Arg Ile 690 695 700

Val Phe Ala Val Leu Ser Val Val Asn Arg Val Arg Gln Gly Tyr Ser 705 710 715 720

Pro Leu Ser Phe Gln Thr His Leu Pro Ile Pro Arg Gly Pro Asp Arg 725 730 735

Pro Glu Gly Ile Glu Glu Glu Gly Gly Glu Arg Asp Arg Ser 740 745 750

Ile Arg Leu Val Asn Gly Ser Leu Ala Leu Ile Trp Asp Asp Leu Arg 755 760 765

Ser Leu Cys Leu Phe Ser Tyr His Arg Leu Arg Asp Leu Leu Leu Ile 770 775 780

Val Thr Arg Ile Val Glu Leu Leu Gly Arg Arg Gly Trp Glu Ala Leu 785 790 795 800

Lys Tyr Trp Trp Asn Leu Leu Gl
n Tyr Trp Ser Gl
n Glu Leu Lys Asn 810 815

Ser Ala Val Ser Leu Leu Asn Ala Thr Ala Ile Ala Val Ala Glu Gly 820 825 830

Thr Asp Arg Val Ile Glu Val Val Gln Gly Ala Tyr Arg Ala Ile Arg 835 840 845

His Ile Pro Arg Arg Ile Arg Gln Gly Leu Glu Arg Ile Leu Leu 850 855 860

<210> 6

<211> 23

<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 6

Asn Asn Thr Arg Lys Ser Ile Arg Ile Gln Arg Gly Pro Gly Arg Ala
1 5 10 15

Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile 20

<210> 7

<211> 20

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> primer

<400> 7

tcccgccttc cagctgtgac

20

<210> 8

<211> 20

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> primer

<400> 8

gtgctgctgt gttatgtcct

20

<210> 9

<211> 24

<212> PRT

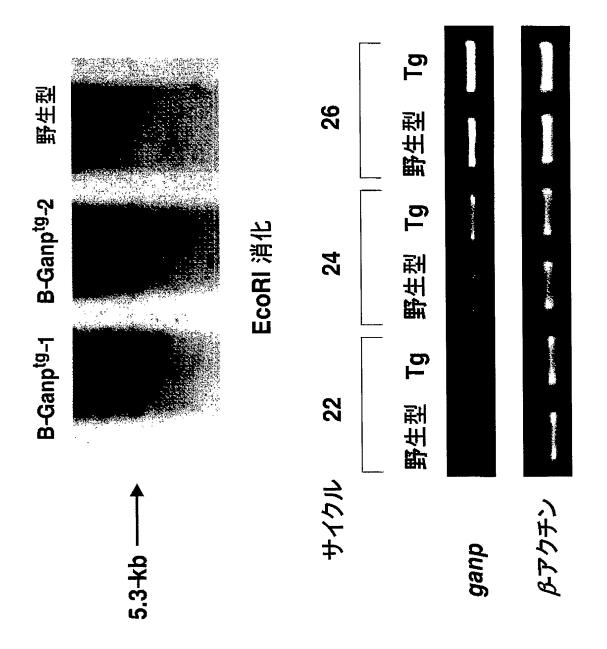
<213> retroviral provirus

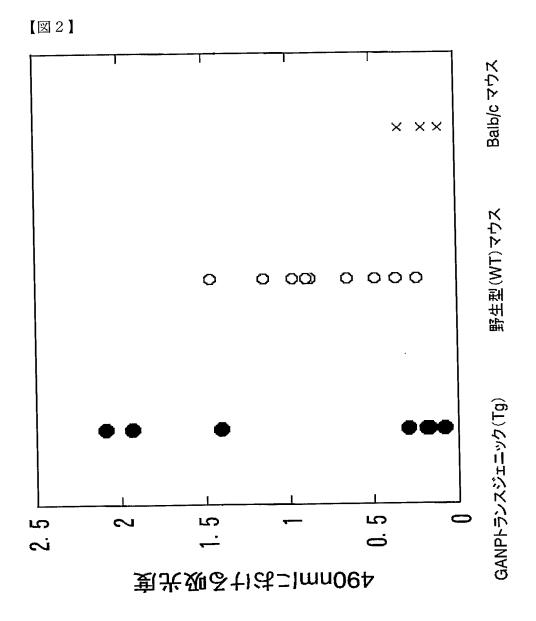
<400> 9

Cys Asn Asn Thr Arg Lys Ser Ile Arg Ile Gln Arg Gly Pro Gly Arg 1 5 10 15

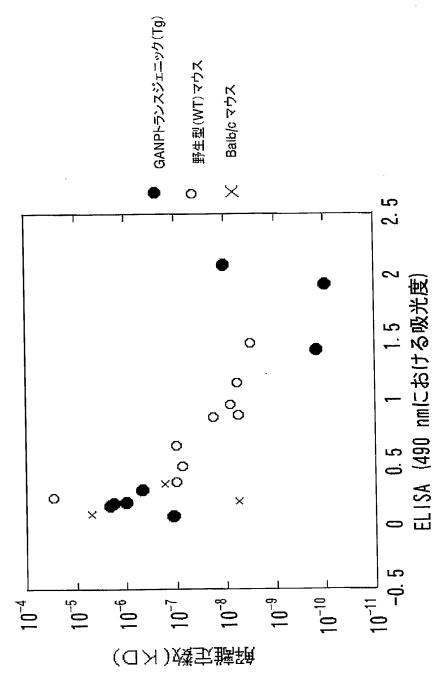
Ala Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile 20

【書類名】図面【図1】











【要約】

【課題】 高親和性抗HIV抗体の提供。

【解決手段】 HIVのgp120糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数がKD= 1.0×10^{-9} (M)以下の抗体又はその断片、前記抗体又はその断片を含有する医薬組成物、GANPトランスジェニック動物又はその子孫を、配列番号 6 に示すアミノ酸配列からなるポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗HIV抗体又はその断片の製造方法。

【選択図】 なし

特願2003-418655

出願人履歴情報

識別番号

[801000050]

1. 変更年月日

2001年 9月 5日

[変更理由]

新規登録

住 所 氏 名 熊本県上益城郡益城町大字田原2081番地10

財団法人くまもとテクノ産業財団